

6.16 景觀

6.16 景観

6.16.1 調査

景観の調査項目及び調査状況は、表－ 6.16.1.1 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.1 調査項目及び調査状況

調査項目	文献その他 資料調査	事業実施区域周辺における調査	
		既存の現地調査	現地調査
(ア)眺望景観の状況			
ア)主要な眺望点の状況	－	○	○
イ)景観資源の状況	○	－	○
ウ)主要な眺望景観の状況	－	－	○
(イ)囲繞景観の状況			
ア)景観区の区分	－	－	○
イ)囲繞景観の状況	－	－	○

(1) 文献その他資料調査

文献その他資料調査結果は、「第3章 3.1.6 景観 (1) 文献その他資料調査」に示すとおりであり、景観資源として国、県、市で指定している建造物、名勝地等を抽出、整理した。

(2) 既存の現地調査

既存の現地調査結果は、「第3章 3.1.6 景観 (2) 既存の現地調査」に示すとおりであり、主要な眺望点の抽出及び写真撮影を行った結果を整理した。

(3) 現地調査

1) 調査項目

調査項目は、表－ 6.16.1.2 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.2 現地調査の調査項目

(ア)眺望景観の状況	ア)主要な眺望点の状況
	イ)景観資源の状況
	ウ)主要な眺望景観の状況
(イ)囲繞景観の状況	ア)景観区の区分
	イ)囲繞景観の状況

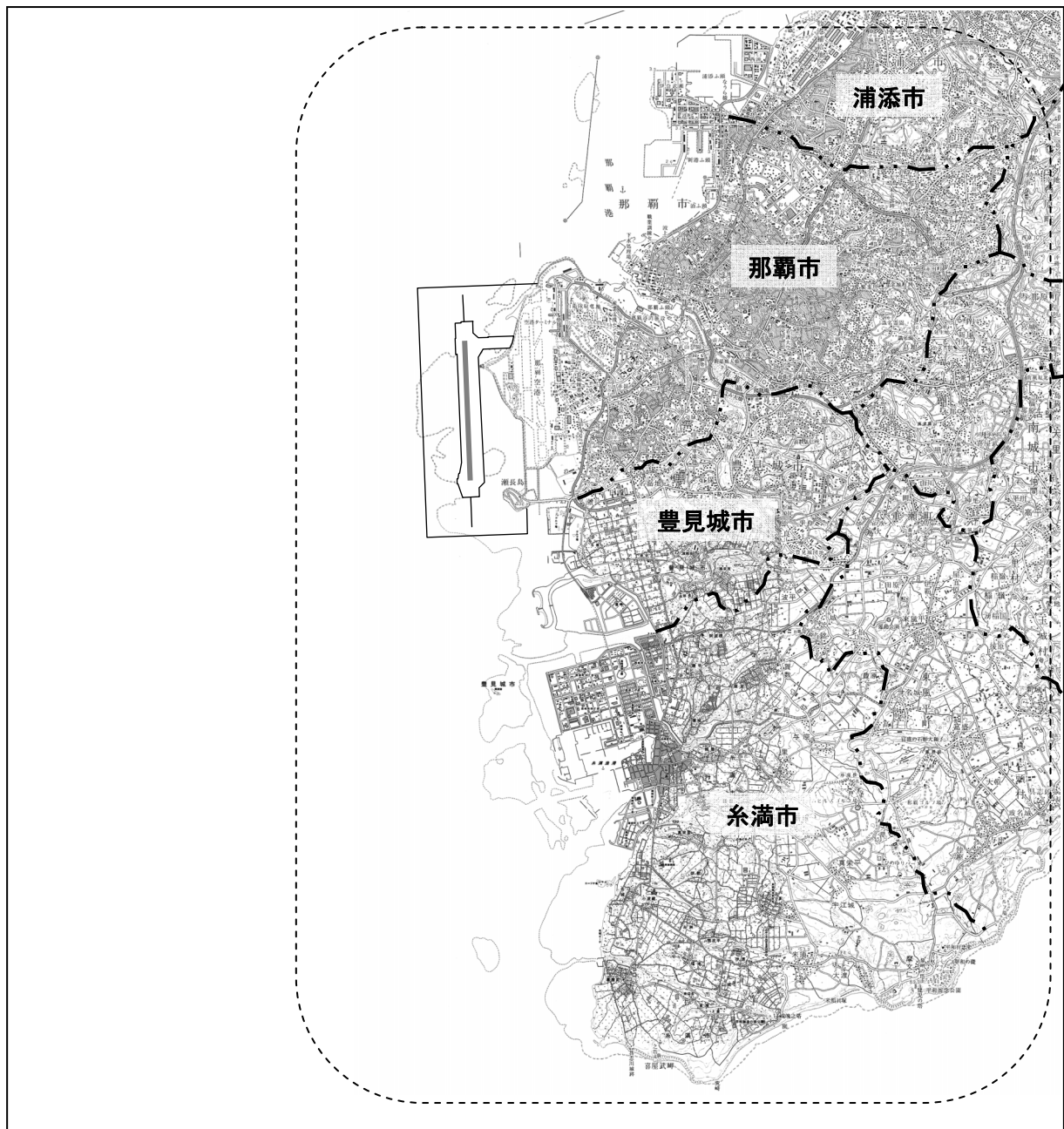
2) 調査概要

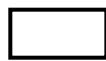
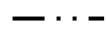

景観の調査概要は、表－ 6.16.1.3 に示すとおりである。

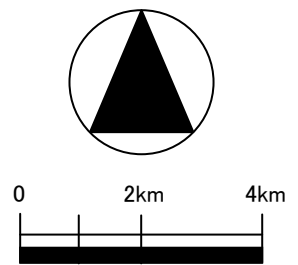
また、眺望景観調査の調査範囲及び主要な調査地点は、図－ 6.16.1.1～図－ 6.16.1.3 に、眺望景観の調査実施日は、表－ 6.16.1.4～表－ 6.16.1.6 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.3 眺望景観の調査概要

調査項目		調査位置	調査時期	調査方法
(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望点の状況	周辺3市(那覇市、豊見城市、糸満市)を含む範囲	冬季	<p>主要な眺望点を抽出するため、地図ソフトによる可視領域の抽出を行った。</p> <p>また、眺望点の分布状況を、方法書に示す地点や文献その他の資料等の情報の収集並びに当該情報を整理した。さらに、周辺3市の関係者を対象としたヒアリングにより情報収集し、可視領域との重ね合せにより地点の抽出を行った。</p> <p>抽出された地点より、調査対象範囲内を現地踏査し、眺望性の観点に照らして地点を抽出した。</p>
	イ) 景観資源の状況			<p>景観資源について、「文化財保護法、条例」で指定された名勝、「第3回自然環境保全基礎調査自然景観資源調査」(環境庁)等の情報の収集並びに当該情報を整理した。さらに、周辺3市の関係者を対象にヒアリングによる情報収集を行い、景観資源の抽出を行った。</p> <p>抽出された景観資源より、調査対象範囲内を現地踏査し、眺望性の観点に照らして景観資源を抽出した。</p>
	ウ) 主要な眺望景観の状況	ア)、イ)より抽出された16地点	四季 (日中・夕方)	ア)、イ)より抽出された眺望点及び景観資源について現地調査を行い、主要な眺望景観及び眺望点の状況等の写真撮影を行い、眺望景観の状況を把握した。
(イ) 圍繞景観	ア) 景観区の区分	事業実施区域周辺	冬季	事業実施区域内の植生、地形及び利用等の状況について、地形、植物、生態系の現地調査の結果及び文献その他の資料に加え、干潮時及び満潮時の状況、土地利用等に基づき整理・分析を行い、事業実施区域の景観区を区分した。
	イ) 圍繞景観の状況	地形基盤ごとに区分し、景観区を網羅するような地点	四季 (日中・夕方)	景観区の状況として、場の状態、利用の状態、眺めの状態を把握するため、基盤環境ごとに区分した計43地点(海域32地点、海中2地点、陸域9地点)の景観区において、写真撮影を行った。



-  : 事業実施区域
-  : 市町村界
-  : 調査範囲



図一 6.16.1.1 景観の調査範囲

表－ 6.16.1.4 景観の調査実施日

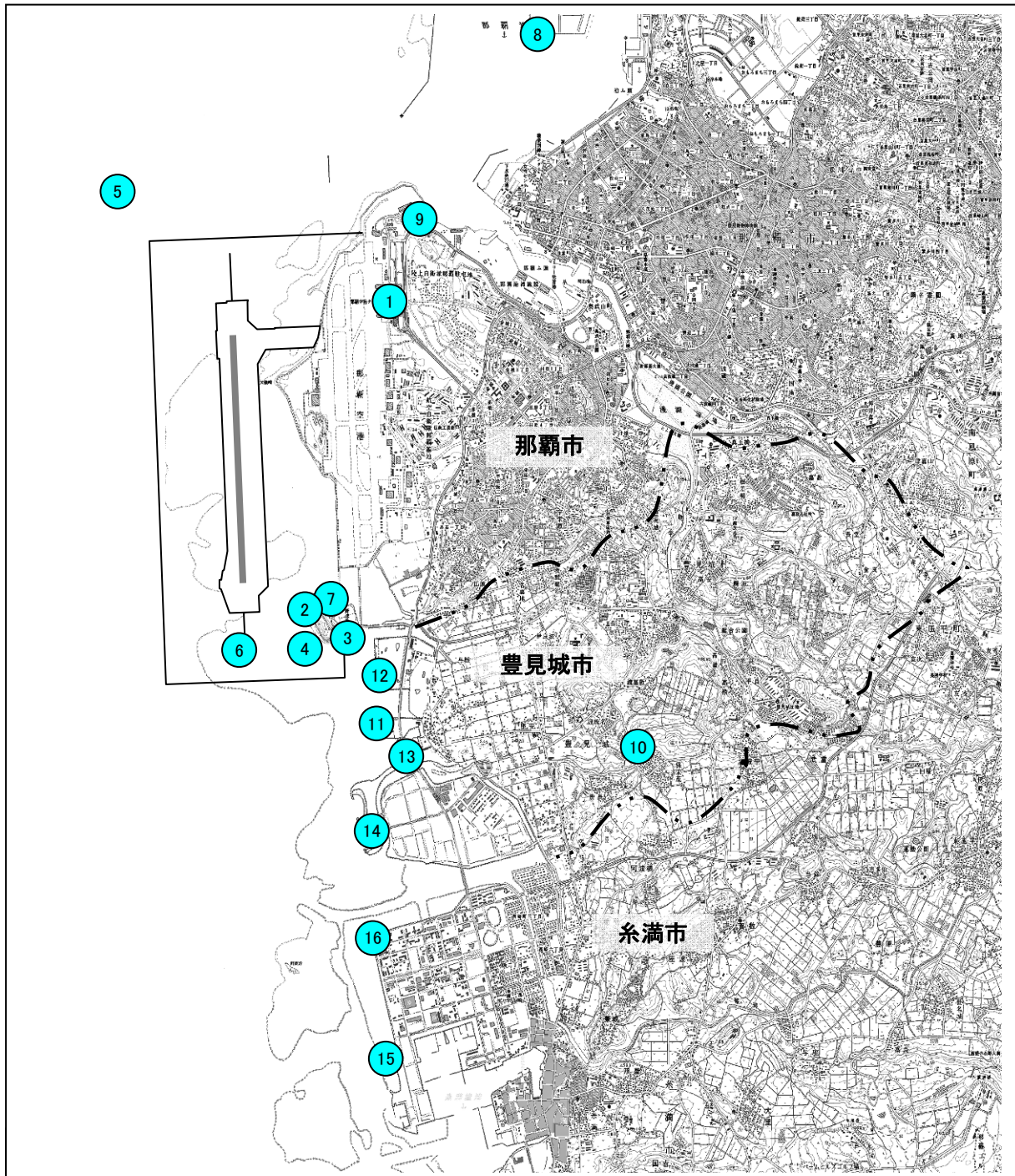
区分	調査項目	調査時期	調査実施日
(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望点の状況	冬季	【文献等整理、可視領域の抽出】 平成 23 年 12 月 20 日～2 月 10 日 【周辺 3 市へのヒアリング】 平成 23 年 2 月 4、8、10 日 【現地踏査】 平成 23 年 2 月 13 日
	イ) 景観資源の状況	冬季	【文献等整理】 平成 23 年 12 月 20 日～2 月 10 日 【周辺 3 市へのヒアリング】 平成 23 年 2 月 4、8、10 日 【現地踏査】 平成 23 年 2 月 13 日
	ウ) 主要な眺望景観の状況	四季 (日中・夕方)	【現地調査】 表－ 6.16.1.5 に示すとおり
(イ) 圍繞景観	ア) 景観区の区分	冬季	【文献等整理】 平成 23 年 1 月 20 日～2 月 10 日
	イ) 圍繞景観の状況	四季 (日中・夕方)	【現地調査】 表－ 6.16.1.6 に示すとおり

表－ 6.16.1.5 眺望景観の調査期日

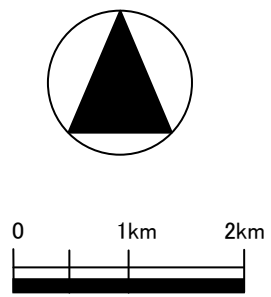
番号	眺望点	冬季		春季		夏季		秋季	
		日中	夕方	日中	夕方	日中	夕方	日中	夕方
①	那覇空港ターミナル	2/22	3/8	4/21	5/30	7/4	8/16	11/13	11/24
②	瀬長島 (山腹-西向き)	3/20	3/20	4/19	5/19	8/16	9/27	11/25	11/25
③	瀬長島 (山頂-大嶺崎向き)	2/21	2/21	4/19	5/19	8/16	-	-	-
④	瀬長島 (山頂-西向き)	3/20	3/20	4/19	5/19	8/16	9/27	-	-
⑤	海上	3/14		5/26		8/22		10/21	
⑥	航空機内	1/14-18		5/18-20		9/5-9		11/21	
⑦	瀬長島サンセットパーク	2/21	2/21	4/19	5/19	8/16	9/27	10/12	11/13
⑧	那覇港	2/22	3/9	4/21	5/30	8/16	8/18	10/12	11/24
⑨	うみそらトンネル換気塔	3/8	3/8	5/18	5/18	9/22	9/29	11/25	11/25
⑩	保栄茂	3/8	3/20	4/21	5/18	7/4	8/16	10/12	11/13
⑪	与根漁港	2/19	2/21	5/6	5/30	8/16	8/16	10/12	10/24
⑫	しおさい公園	2/19	2/21	5/6	5/30	8/16	8/16	10/12	10/27
⑬	国道 331 号豊見城道路	3/19	2/22	4/21	5/19	8/16	8/16	10/12	11/13
⑭	美らサンビーチ	3/9	2/21	4/19	5/19	7/3	8/16	10/12	11/13
⑮	美々ビーチいとまん	3/9	3/20	4/19	5/19	8/16	8/22	10/12	10/27
⑯	西崎護岸	2/19	2/22	5/30	5/19	8/16	8/22	10/12	10/27

注 1：「-」は、瀬長島温泉開発事業の工事により視点場が消失し撮影不可であったことを示す。

2：調査期日は平成 23 年の月日を示す。



- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 眺望景観調査地点 (16地点)

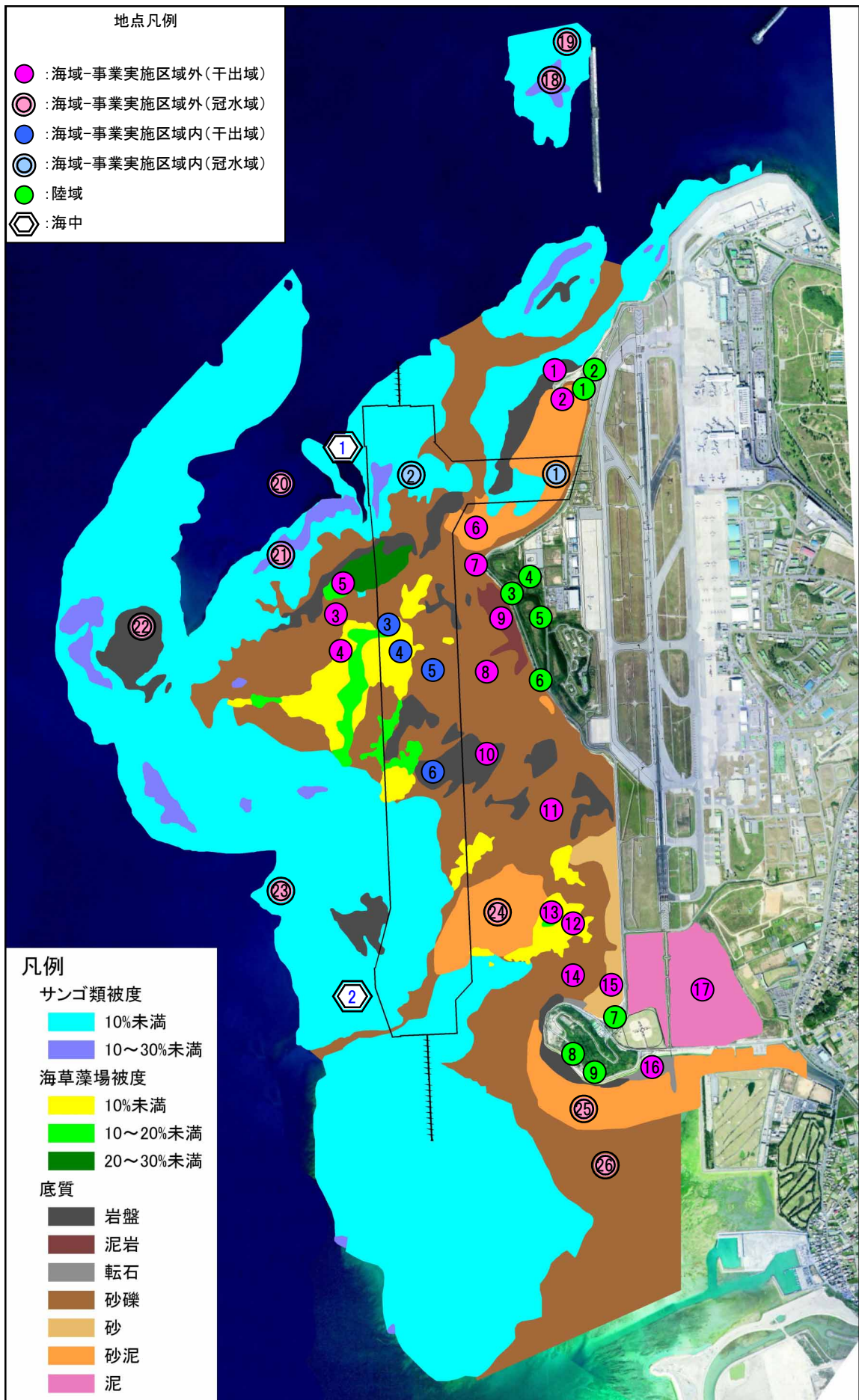


図一 6.16.1.2 眺望景観の調査地点

表－ 6.16.1.6 圍繞景観の調査実施日

区分	NO.	地形基盤 (地形区分)	冬季	春季	夏季	秋季	GPS値	
海域	事業実施区域外	1 岩盤	2/19	4/16	7/3	11/13	26° 12. 421'	127° 38. 453'
		2 砂泥	2/19	4/16	7/3	11/13	26° 12. 475'	127° 38. 441'
		3 砂礫	3/9	5/3	8/14	11/26	26° 11. 938'	127° 37. 832'
		4 藻場10%未満	3/9	5/3	8/14	11/26	26° 11. 910'	127° 37. 836'
		5 藻場10～30%未満	3/9	5/3	8/14	11/26	26° 11. 789'	127° 37. 848'
		6 砂泥	2/19	4/16	7/3	11/13	26° 12. 048'	127° 38. 366'
		7 砂礫	2/19	4/16	7/4	11/13	26° 11. 926'	127° 38. 178'
		8 砂礫	2/21	4/19	8/14	11/13	26° 11. 855'	127° 38. 180'
		9 泥岩	2/19	4/19	7/4	11/13	26° 11. 768'	127° 38. 264'
		10 岩盤	2/21	5/3	7/4	11/13	26° 11. 399'	127° 38. 431'
		11 砂礫	2/21	5/3	7/4	11/13	26° 11. 303'	127° 38. 428'
		12 藻場10%未満	3/9	4/21	7/4	11/24	26° 10. 894'	127° 38. 441'
		13 藻場10～20%未満	3/9	4/21	7/4	11/24	26° 10. 913'	127° 38. 451'
		14 砂礫	2/21	4/19	7/3	11/24	26° 10. 662'	127° 38. 531'
		15 砂	2/21	4/19	7/3	11/24	26° 10. 677'	127° 38. 573'
		16 転石	2/21	4/21	7/3	11/13	26° 10. 419'	127° 38. 646'
		17 泥	2/27	4/21	7/3	11/13	26° 10. 726'	127° 39. 012'
		18 サンゴ10～30%未満	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 13. 365'	127° 38. 450'
		19 サンゴ10%未満	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 13. 207'	127° 38. 334'
		20 砂	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 12. 122'	127° 37. 489'
		21 サンゴ10～30%未満	3/14	5/26	8/22	11/26	26° 11. 895'	127° 37. 513'
		22 岩盤	3/14	5/26	8/22	11/26	26° 11. 600'	127° 37. 380'
		23 サンゴ10%未満	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 10. 787'	127° 37. 652'
		24 砂泥	3/11	5/26	8/22	10/21	26° 10. 909'	127° 38. 259'
		25 砂泥	3/11	5/26	8/22	10/28	26° 10. 417'	127° 38. 247'
		26 砂礫	3/11	5/26	8/22	10/28	26° 10. 163'	127° 38. 492'
海域	事業実施区域内	1 砂泥	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 12. 154'	127° 38. 388'
		2 サンゴ10%未満	3/14	5/26	8/22	11/26	26° 12. 150'	127° 38. 874'
		3 藻場10～20%未満	2/21	5/3	8/14	11/26	26° 11. 870'	127° 37. 881'
		4 藻場10%未満	2/21	5/3	8/14	11/26	26° 11. 823'	127° 37. 881'
		5 砂礫	3/9	4/19	8/14	11/13	26° 11. 885'	127° 38. 080'
		6 岩盤	3/9	5/3	8/14	11/13	26° 11. 747'	127° 38. 109'
陸域	1 砂浜	2/19	4/16	7/3	10/27	26° 12. 438'	127° 38. 543'	
	2 草地	2/27	4/16	7/3	10/27	26° 12. 468'	127° 38. 527'	
	3 砂浜-海浜植生	3/9	4/19	7/4	10/27	26° 11. 912'	127° 38. 202'	
	4 草地	2/27	4/16	7/3	10/27	26° 11. 912'	127° 38. 343'	
	5 ギンネム	2/27	4/16	7/3	10/27	26° 11. 793'	127° 38. 413'	
	6 岩場-海浜植生	3/9	4/16	7/3	10/27	26° 11. 571'	127° 38. 400'	
	7 砂浜	3/9	4/16	7/3	11/13	26° 10. 599'	127° 38. 585'	
	8 草地	2/27	4/16	7/3	10/27	26° 10. 469'	127° 38. 502'	
	9 ギンネム	2/27	4/16	7/3	10/27	26° 10. 417'	127° 38. 609'	
海中景観	1 北側 (サンゴ、砂)	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 12. 251'	127° 38. 772'	
	2 南側 (サンゴ)	3/14	5/26	8/22	10/21	26° 10. 550'	127° 38. 864'	

注：調査期日は平成23年の月日を示す。



図一 6.16.1.3 圍繞景觀調査地点

3) 調査結果

(ア) 眺望景観の状況

ア) 主要な眺望点の状況

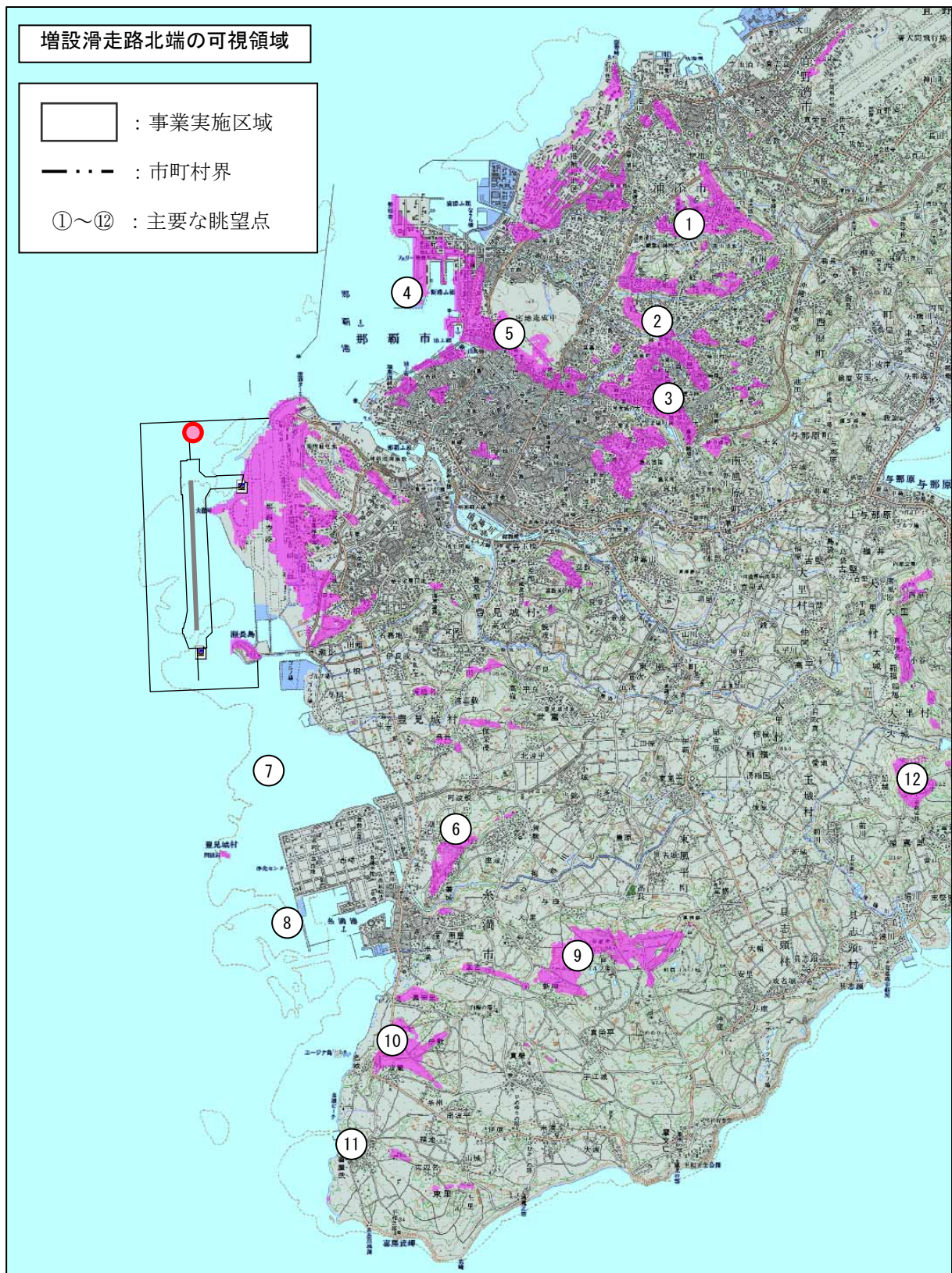
(a) 可視領域判定による主要な眺望点候補地の抽出

主要な眺望点を抽出するため、増設滑走路の北端と南端を対象に、地図ソフトによる可視領域の計算を行い可視領域の判定を行った。計算結果は、図－ 6.16.1.4 に示すとおりである。

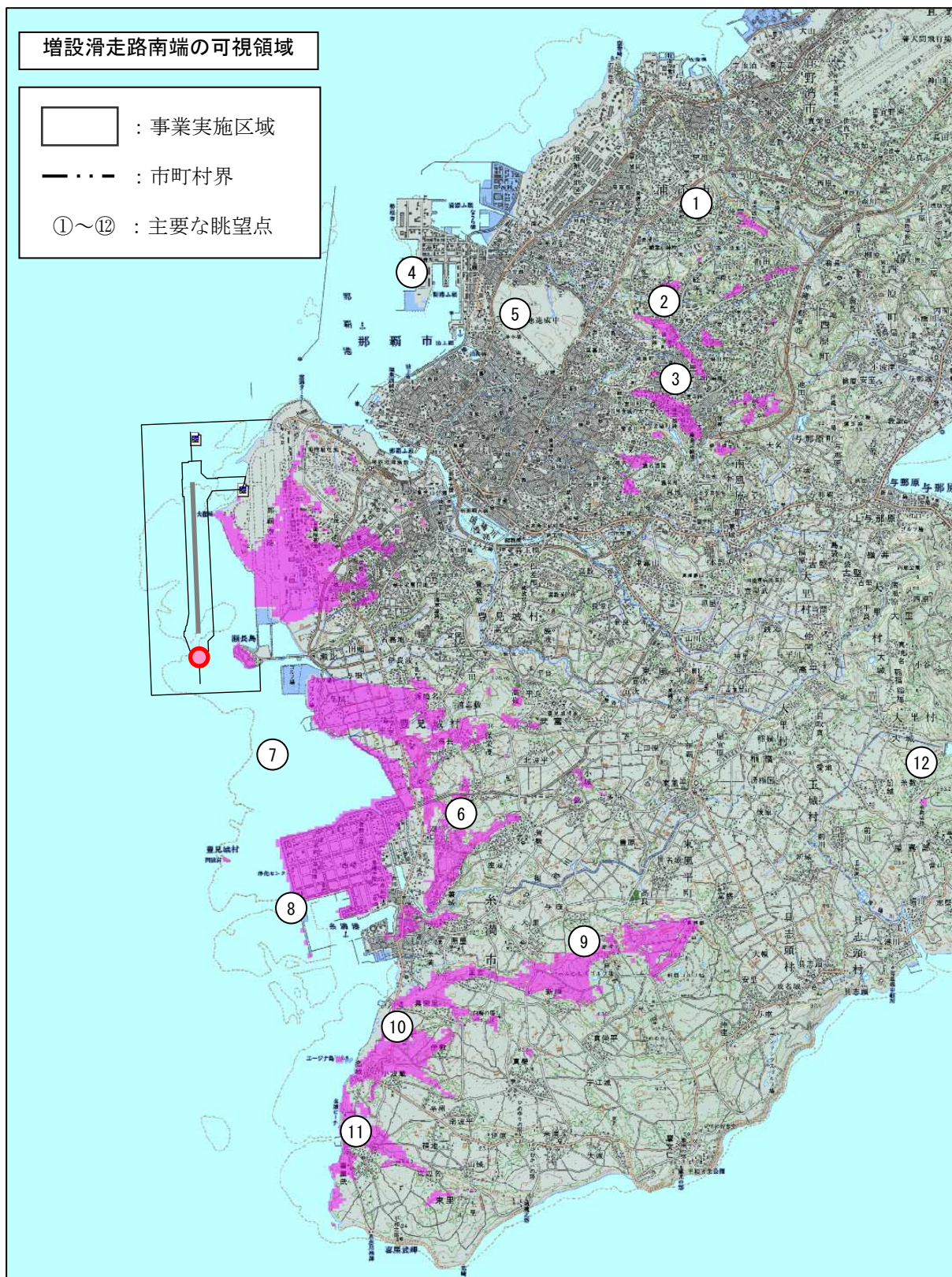
この結果より、可視領域内の主な眺望景観の視点場となりうる地点を表－ 6.16.1.7 に抽出した。

表－ 6.16.1.7 可視領域判定により抽出した主要な眺望点

地点番号	地点名	市
①	浦添市役所展望テラス	浦添市
②	末吉公園	那覇市
③	首里城	〃
④	那覇港	〃
⑤	沖縄総合事務局 10 階西側テラス	〃
⑥	潮平公民館	豊見城市
⑦	美らサンビーチ（豊崎海浜公園）	〃
⑧	美々ビーチいとまん	糸満市
⑨	パームヒルズゴルフリゾート	〃
⑩	泰眞禅寺	〃
⑪	喜屋武小学校	〃
⑫	糸数城跡	南城市



図一 6.16.1.4 (1) 可視領域判定の結果 (増設滑走路北端を対象)



図一 6.16.1.4 (2) 可視領域判定の結果（増設滑走路南端を対象）

(b) その他の主要な眺望点候補地の抽出

以下の手法により、主な眺望地点となりうる候補地点を抽出した。

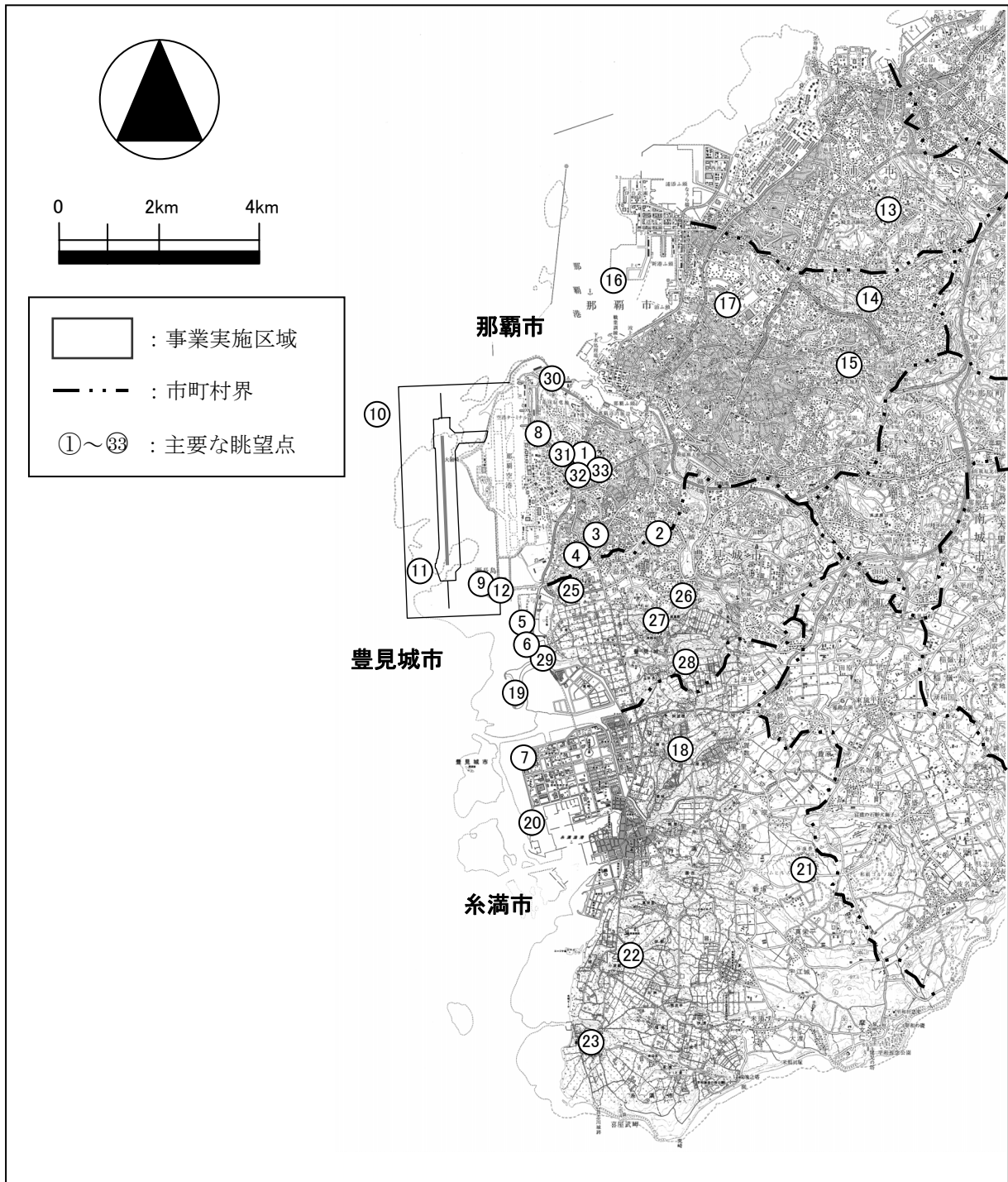
表ー 6.16.1.8 その他の候補地点の抽出手法

抽出方法	内容								
3章に示す既存の現地調査	3章に示す既存の現地調査における主要な眺望点 7 地点を抽出した。								
現地調査	眺望点としては、空港ターミナル（4 階の展望ロビー及び屋外の見学者デッキ）、瀬長島山腹、海上の 3 地点について眺望点を設定した。								
方法書に対する県知事意見	方法書に対する県知事意見により、航空機内及び瀬長島サンセットパークを追加した。								
市町村ヒアリング	<p>主要な眺望点について対象事業実施区域周辺的那覇市、豊見城市、糸満市の以下の機関を対象に、考慮すべき景観の眺望点についてヒアリングを実施し、5 地点を抽出した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>市</th> <th>担当機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>那覇市</td> <td>企画財務部 企画調整課</td> </tr> <tr> <td>豊見城市</td> <td>企画部 企画調整課</td> </tr> <tr> <td>糸満市</td> <td>企画部 秘書企画課</td> </tr> </tbody> </table>	市	担当機関	那覇市	企画財務部 企画調整課	豊見城市	企画部 企画調整課	糸満市	企画部 秘書企画課
市	担当機関								
那覇市	企画財務部 企画調整課								
豊見城市	企画部 企画調整課								
糸満市	企画部 秘書企画課								
その他追加地点	上記のとおり抽出した地点の他に考慮すべき眺望点として、4 地点を抽出した。								

(c) 主要な眺望点の選定

可視領域判定及び文献等により抽出された主要な眺望点は、図－ 6.16.1.5 に、これらの地点において現地踏査により確認した眺望性の状況は、表－ 6.16.1.9 に示すとおりである。

当該調査において、表－ 6.16.1.9 に示すとおり、視界が開けており事業実施区域が眺望できる地点 16 地点を主要な眺望点として選定した。



注：図中の地点番号は、表－ 6.16.1.9 に対応している。

図－ 6.16.1.5 抽出された主要な眺望点の位置

表－ 6.16.1.9 抽出された眺望点の眺望性の状況

抽出方法	地点番号	眺望点	眺望性の状況 ^{注)2}	
3章に示す 既存の現地調査	1	赤嶺配水地	×	
	2	海軍壕公園	×	
	3	高前原公園	×	
	4	ゆうがお公園	×	
	5	しおさい公園	○	
	6	与根漁港	○	
	7	西崎護岸	○	
現地調査	8	那覇空港 ターミナル	(4階展望ロビー) (屋外見学者デッキ)	○ ×
		9	瀬長島	(山頂-大嶺崎向き)
	(山頂-西向き)			○
	(山腹-西向き)			○
10	海上		○	
方法書に対する 県知事意見	11	航空機内	○	
	12	瀬長島サンセットパーク	○	
可視領域判定	13	浦添市役所展望テラス	×	
	14	末吉公園	×	
	15	首里城	×	
	16	那覇港	○	
	17	沖縄総合事務局テラス	×	
	18	潮平公民館	×	
	19	美らサンビーチ	○	
	20	美々ビーチいとまん	○	
	21	パームヒルズゴルフリゾート	×	
	22	泰眞禅寺	×	
	23	喜屋武小学校	×	
	24	糸数城跡 ^{注)1}	×	
市町村ヒアリング	25	瀬長公園	×	
	26	おもと とよみの杜	×	
	27	渡橋名第1・2配水地	×	
	28	保栄茂	○	
	29	国道331号豊見城道路	○	
その他追加地点	30	うみそらトンネル換気塔	○	
	31	モノレール車内	×	
	32	モノレール赤嶺駅	×	
	33	県営赤嶺市街地住宅7号棟	×	

注1：NO.24の糸数城跡については、調査対象範囲外であったが、可視領域として抽出されたことから調査を行った。住所は、南城市玉城字糸数。

注2：眺望の状況は以下の凡例に従うものとする。

- 視界が開けており事業実施区域が眺望できることから、主要な眺望点として選定した地点。
- × 遠方のため、もしくは視界が遮られており事業実施区域を眺望しにくく、眺望点として適さない。

イ) 景観資源の状況

(a) 文献等整理

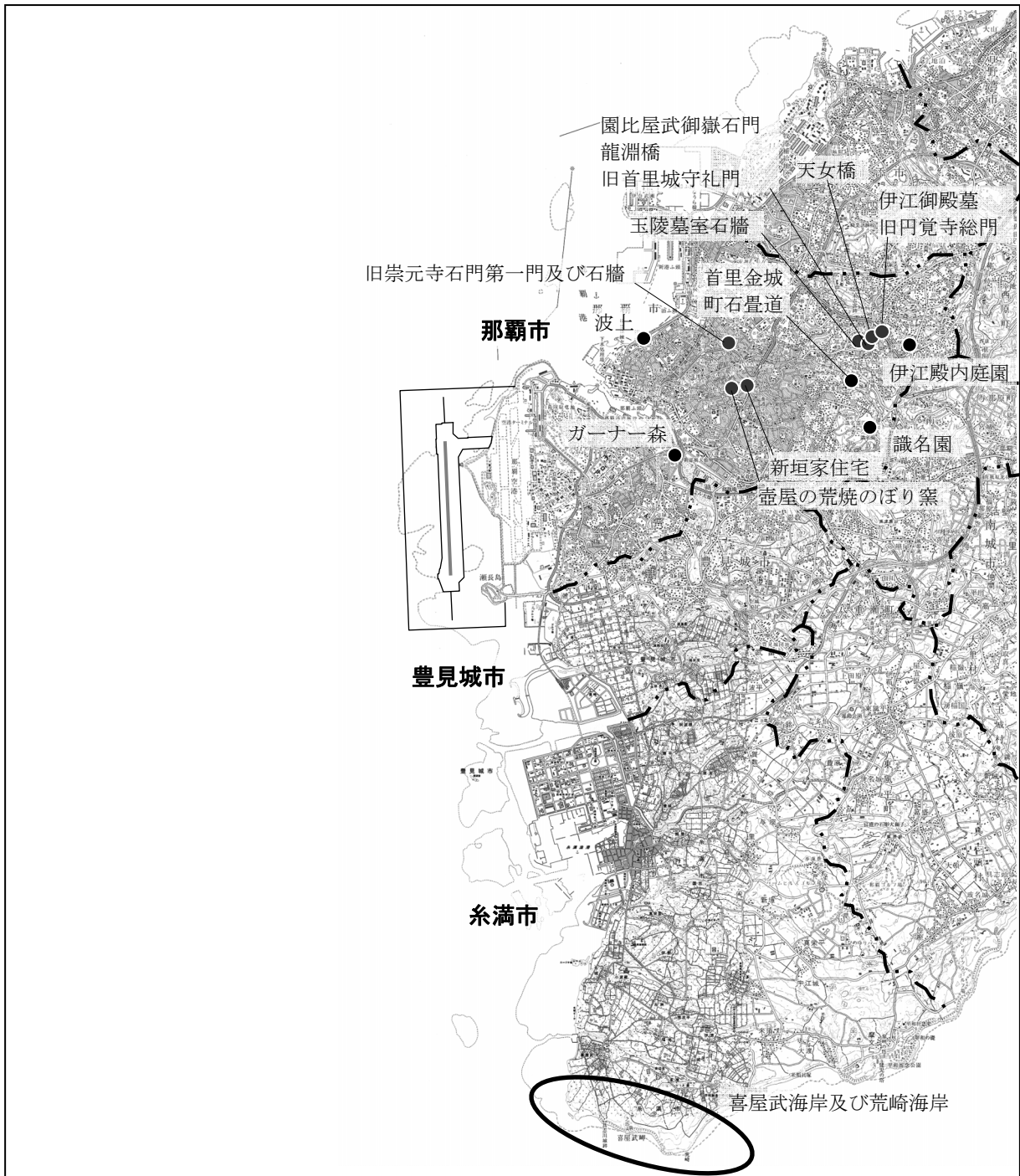
文献等を整理した結果は、「第3章 3.1.6 景観」に示すとおりであり、景観資源として国、県、市で指定している建造物、名勝地等を抽出、整理した。

那覇市には、国指定の特別名勝の識名園の他、伊江殿内庭園（いえどうんちていえん）や首里金城町石畳道などが分布している。また、糸満市には、国の登録記念物（名勝地関係）として喜屋武海岸及び荒崎海岸がある。

表－ 6.16.1.10 文献等整理により抽出した景観資源

番号	名称	指定等の状況	市
1	識名園	国指定 特別名勝	那覇市
2	天女橋	国指定 重要文化財（建造物）	〃
3	園比屋武御嶽石門	〃	〃
4	旧崇元寺石門第一門及び石牆（せきしょう）	〃	〃
5	玉陵墓室石牆	〃	〃
6	伊江御殿墓	〃	〃
7	新垣家住宅	〃	〃
8	伊江殿内庭園（いえどうんちていえん）	国指定 名勝	〃
9	龍淵橋	県指定 建造物	〃
10	旧首里城守礼門	〃	〃
11	旧円覚寺総門	〃	〃
12	壺屋の荒焼のぼり窯	〃	〃
13	首里金城町石畳道	県指定 名勝	〃
14	波上	市指定 史跡・名勝	〃
15	ガーナー森	市指定 名勝	〃
16	喜屋武海岸及び荒崎海岸	国登録 記念物（名勝地関係）	糸満市

出典：「平成23年度版文化行政要覧」（平成23年11月、沖縄県教育庁文化財課）

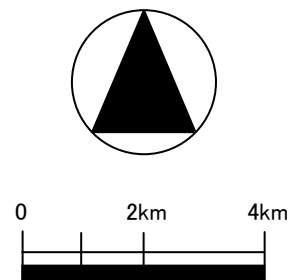


◻ : 事業実施区域

- · - · : 市町村界

● ○ : 景観資源

出典：「平成 23 年度版文化行政要覧」（平成 23 年 11 月、沖縄県教育庁文化財課）



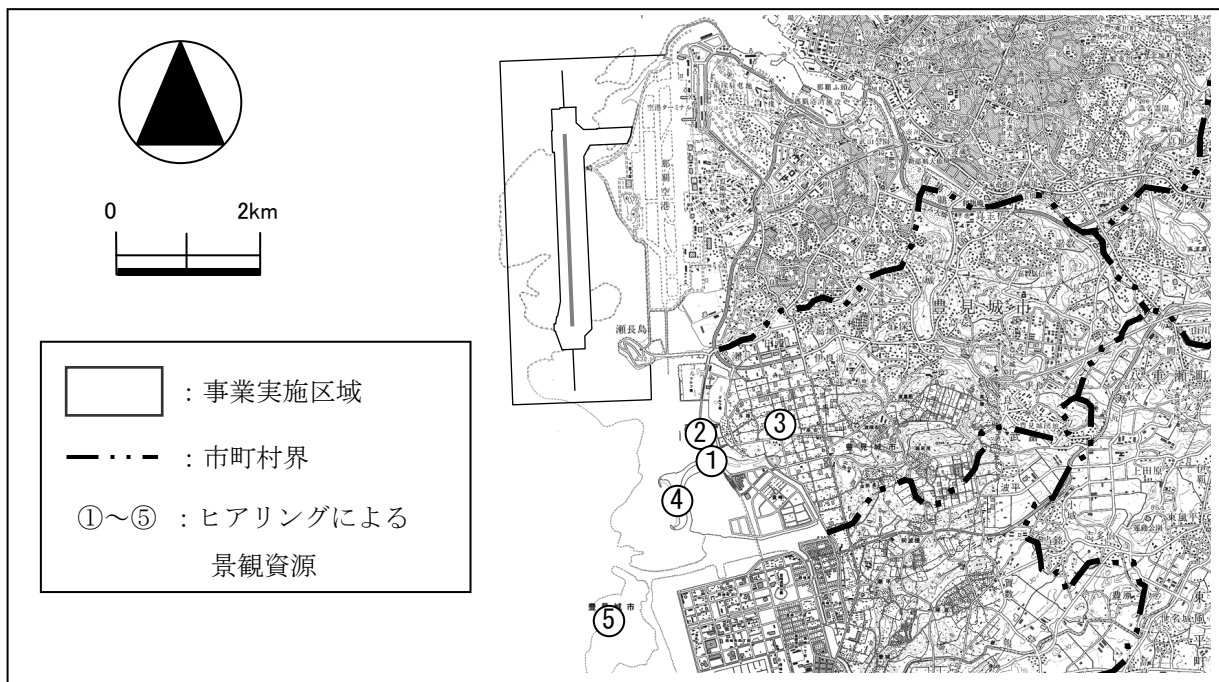
図一 6.16.1.6 方法書において抽出した景観資源の位置

(b) 周辺3市へのヒアリング

景観資源について対象事業実施区域周辺的那覇市、豊見城市、糸満市を対象に、考慮すべき景観資源についてヒアリングを実施した。ヒアリングの結果抽出された景観資源は、表－ 6.16.1.11 及び図－ 6.16.1.7 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.11 周辺3市へのヒアリングの結果により抽出された景観資源

地点番号	地点名	備考
①	豊崎干潟	豊見城市
②	国道331号豊見城道路	〃
③	数珠森（ジュジュモー）	〃
④	豊崎総合公園	〃
⑤	岡波島	〃



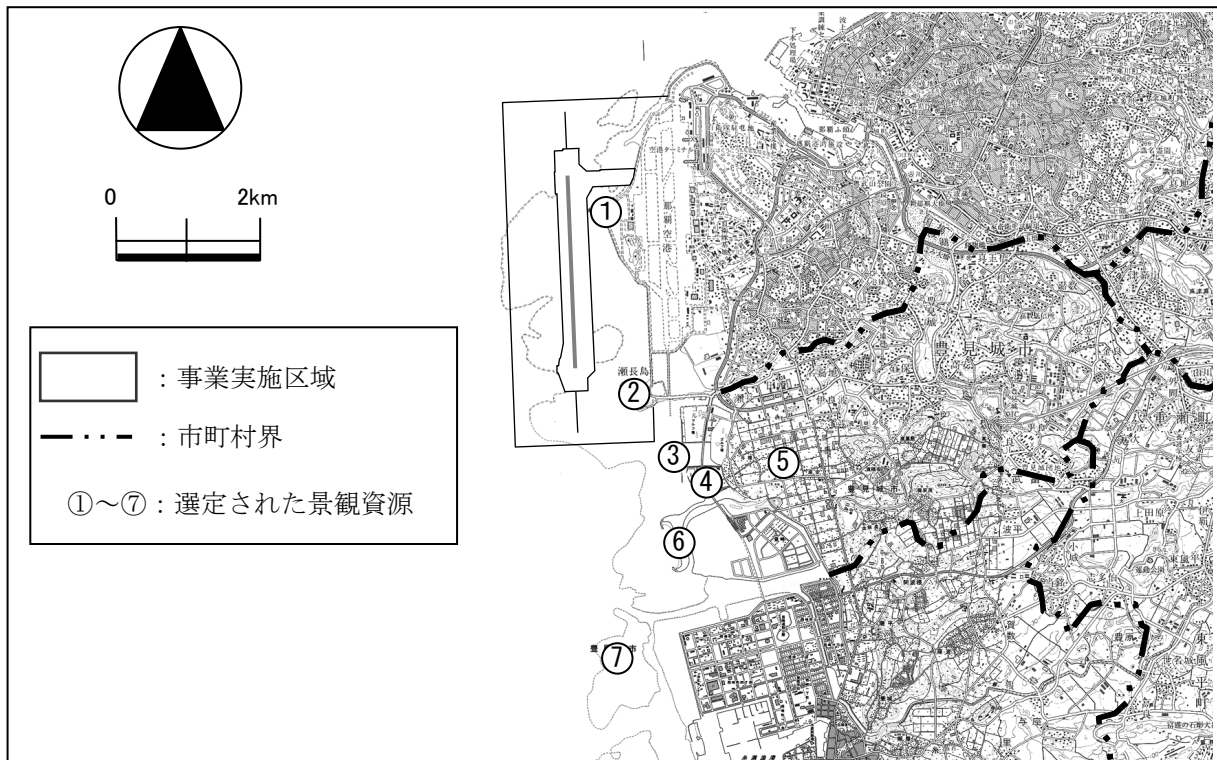
図－ 6.16.1.7 周辺3市へのヒアリングの結果により抽出された景観資源の位置

(c) 景観資源の選定

上記により抽出された景観資源に、大嶺崎と瀬長島を加え、主要な眺望点からの眺望景観において構成要素となる景観資源を表－ 6.16.1.12 及び図－ 6.16.1.8 のとおり抽出した。

表－ 6.16.1.12 抽出された景観資源

地点番号	地点名	市
①	大嶺崎	那覇市
②	瀬長島	豊見城市
③	豊崎干潟	〃
④	国道 331 号豊見城道路	〃
⑤	数珠森 (ジュジュモー)	〃
⑥	豊崎総合公園	〃
⑦	岡波島	〃



図－ 6.16.1.8 選定された景観資源の位置

ウ) 主要な眺望景観の状況

(a) 主要な眺望景観の状態把握

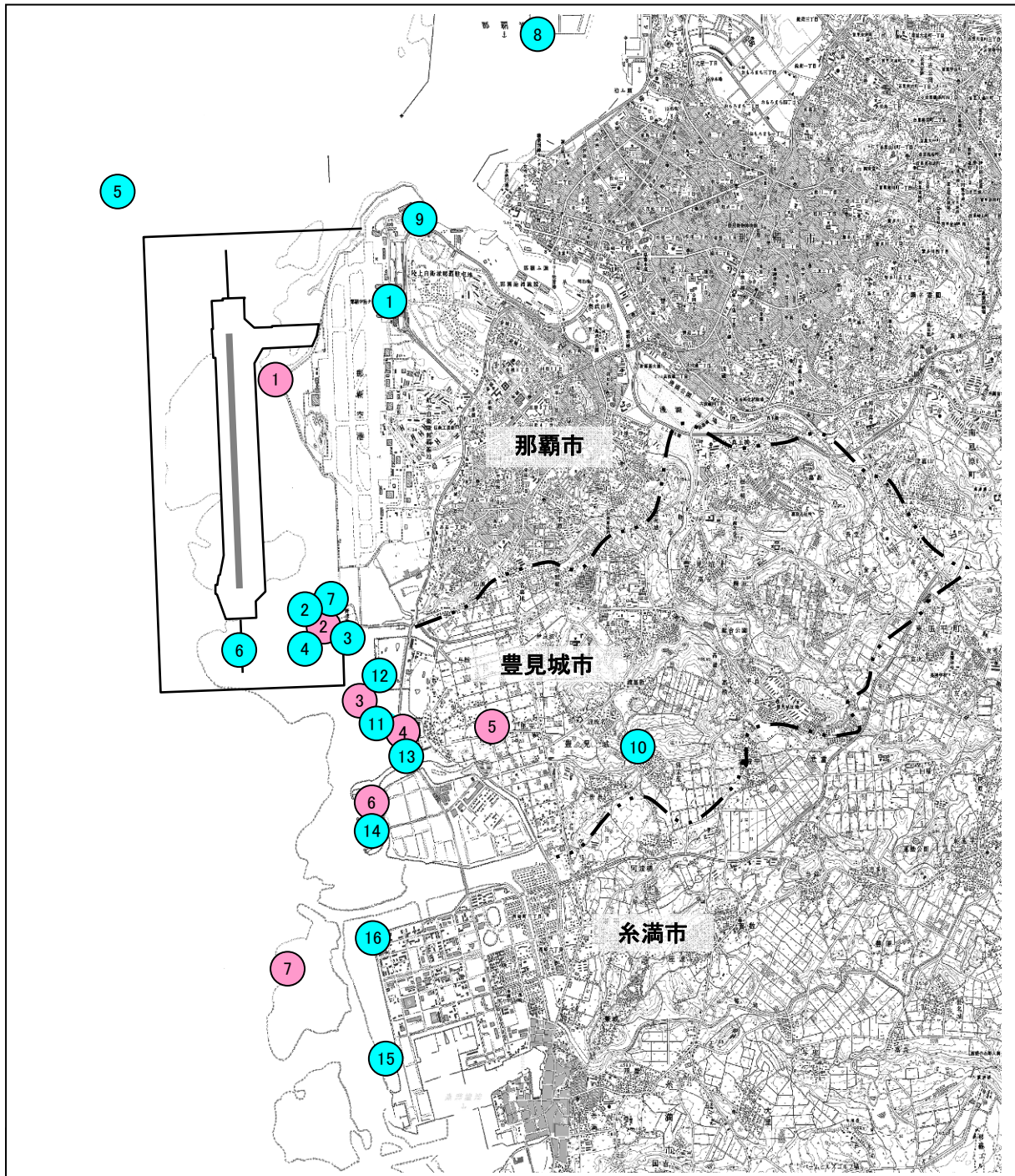
以上により選定された主要な眺望点から、構成要素として抽出した景観資源を含め、日中と夕方の時間帯で主要な眺望景観を撮影した。

主要な眺望点及び景観資源の関係は、表－ 6.16.1.13 に、それぞれの位置は、図－ 6.16.1.9 に示すとおりである。また、主要な眺望点からの眺望景観の状況は、表－ 6.16.1.15 に、景観資源の状況は、表－ 6.16.1.14 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.13 主要な眺望点と景観資源の関係

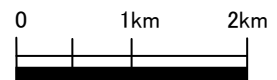
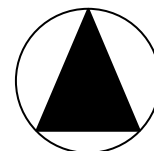
主要な眺望点		景観資源							
		「事業実施区域」	① 大嶺崎	② 瀬長島	③ 豊崎干潟	④ 国道 331 号豊見城道路	⑤ 数珠森 (ジュズモ)	⑥ 豊崎海浜公園	⑦ 岡波島
①	那覇空港ターミナル	○	○						
②	瀬長島 (山腹-西向き)	○	○						
③	瀬長島 (山頂-大嶺崎向き)	○							
④	瀬長島 (山頂-西向き)	○							
⑤	海上	○	○						
⑥	航空機内	○	○	○					
⑦	瀬長島サンセットパーク	○	○						
⑧	那覇港	○	○						
⑨	うみそらトンネル換気塔	○	○						
⑩	保栄茂	○	○	○		○	○		
⑪	与根漁港	○		○	○				
⑫	しおさい公園	○		○					
⑬	国道 331 号豊見城道路	○		○	○				
⑭	美らサンビーチ	○		○				○	
⑮	美々ビーチいとまん	○		○					○
⑯	西崎護岸	○		○					

注：○印は利用形態として当てはまるものを示す。



- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 眺望景観調査地点 (16 地点)
- : 景観資源位置 (7 地点)

注：調査地点の番号は表－ 6.16.1.13 に対応している。





図－ 6.16.1.9 眺望景観の調査地点


表－ 6.16.1.14 (1) 景観資源の状況


地点番号	①	景観資源の風景
景観資源名	大嶺崎	
市	那覇市	
景観資源の状況	<p>空港ターミナルや瀬長島など多くの眺望点から遠方に視認できる。</p> <p>現在、陸域は空港用地として利用され、海域（主に干潟）は地元住民を中心に利用されている。</p>	
地点番号	②	景観資源の風景
景観資源名	瀬長島	
市	豊見城市	
景観資源の状況	<p>与根漁港やビーチなど主に南側の眺望において景観構成要素となっている。</p> <p>地元住民を中心に観光客にも利用されている。地元住民にとってはシンボリックな存在となっている。</p>	
地点番号	③	景観資源の風景
景観資源名	豊崎干潟	
市	豊見城市	
景観資源の状況	<p>与根漁港や国道 331 号豊見城道路など、一部の眺望景観における構成要素となっている。</p> <p>地元住民がアーサ採りなどに利用している。</p>	

表－ 6.16.1.14 (2) 景観資源の状況


地点番号	④	景観資源の風景
景観資源名	国道 331 号豊見城道路	
市	豊見城市	
景観資源の状況	保栄茂からの眺望景観における構成要素となっている。 現在、関連道路を整備中で、今後も多くの人の利用が見込まれる。	

地点番号	⑤	景観資源の風景
景観資源名	数珠森 (ジュジュモ)	
市	豊見城市	
景観資源の状況	保栄茂からの眺望景観における構成要素となっている。 「ジジムイ」ともいう。 地域における神聖なシンボルであり、雨乞いの拝所となっている。	









地点番号	⑥	景観資源の風景
景観資源名	豊崎海浜公園	
市	豊見城市	
景観資源の状況	同公園内に併設している美らサンビーチからの景観構成要素となっている。 ビーチやバスケットコートが併設されており、地元住民や観光客など多くの人に利用されている。	

地点番号	⑦	景観資源の風景
景観資源名	岡波島	
市	豊見城市	
景観資源の状況	美々ビーチいとまんからの構成要素となっている。 シュノーケルやシーカヤック等のレジャーで利用されている。	

表－ 6.16.1.15 (1) 主要な眺望景観の状況

地点番号	①	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	那覇空港ターミナル	
市町村	那覇市	
眺望状況	現在、展望ロビーとして多くの人に利用されており、事業実施区域が眺望できる。また、今後も事業実施区域が眺望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		




表－ 6.16.1.15 (2) 主要な眺望景観の状況

地点番号	②	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	瀬長島（山腹-西向き）	
市町村	豊見城市	
眺望状況	「2 瀬長島（山頂-西向き）」と同様の眺望であるが、やや視点が低い。しかし、前面に植生帯がないため、今後も同様の眺望が期待できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.15 (3) 主要な眺望景観の状況

地点番号	③	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	瀬長島（山頂-大嶺崎向き）	
市町村	豊見城市	
眺望状況	<p>山頂から事業実施区域及び瀬長島が一望できる。</p> <p>ただし、平成 23 年度夏季より、瀬長島の工事により視点場が消失し、景観の把握ができなくなった。</p>	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		視点場消失のため撮影不可
秋季	視点場消失のため撮影不可	視点場消失のため撮影不可

表－ 6.16.1.15 (4) 主要な眺望景観の状況

地点番号	④	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	瀬長島（山頂-西向き）	
市町村	豊見城市	
眺望状況	<p>山頂から進入灯を含む事業実施区域が一望でき、晴天時には慶良間列島も眺望できる。</p> <p>ただし、平成 23 年度秋季より、瀬長島の工事により視点場が消失し、景観の把握ができなくなった。</p>	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季	視点場消失のため撮影不可	視点場消失のため撮影不可

表－ 6.16.1.15 (5) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑤	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	海上	
市町村	－	
眺望状況	海上から事業実施区域を眺望できる地点として選定する。 なお、海上については、基本的に夕方における眺望者がほとんど見られないことから、日中の眺望景観のみを把握した。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		－
春季		－
夏季		－
秋季		－

表－ 6.16.1.15 (6) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑥	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	航空機内	—
市町村	—	
眺望状況	航空機から事業実施区域を眺望できる地点として選定する。	
【季節】	瀬長島-大嶺崎	瀬長島
冬季		
	大嶺崎南側	大嶺崎北側
		
【季節】	瀬長島-大嶺崎	瀬長島
春季		
	大嶺崎南側	大嶺崎北側
		



表－ 6.16.1.15 (7) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑥ (続き)	
【季節】	瀬長島-大嶺崎	瀬長島
夏季		
	大嶺崎南側	大嶺崎北側
		
【季節】	瀬長島-大嶺崎	瀬長島
秋季		
	大嶺崎南側	大嶺崎北側
		

表－ 6.16.1.15 (8) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑦	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	瀬長島サンセットパーク	
市町村	豊見城市	
眺望状況	護岸から事業実施区域及び大嶺崎が一望できる。 海浜部よりもやや高い道路部に視点場を設けている。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		









表－ 6.16.1.15 (9) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑧	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	那覇港	
市町村	那覇市	
眺望状況	やや遠方ではあるものの、護岸から事業実施区域の北側部分が一望できる。北端が眺望できる唯一の地点である。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		









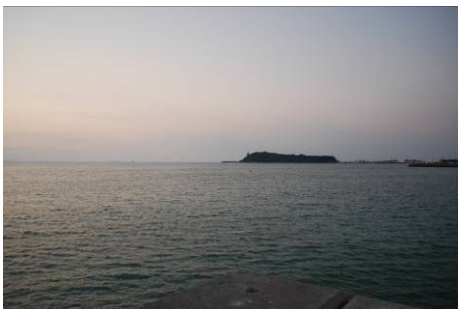
表－ 6.16.1.15 (10) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑨	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	うみそらトンネル換気塔	
市町村	那覇市	
眺望状況	現在は工事中のため立ち入りできないものの、今後、4階の展望室から事業実施区域が一望できると考えられる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.15 (11) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑩	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	保栄茂	
市町村	豊見城市	
眺望状況	やや遠方ではあるものの、道路沿いから事業実施区域及び瀬長島、国道331号豊見城道路、数珠森が一望できる。	
【季節】	【日中】	
冬季		
春季		
夏季		
秋季		





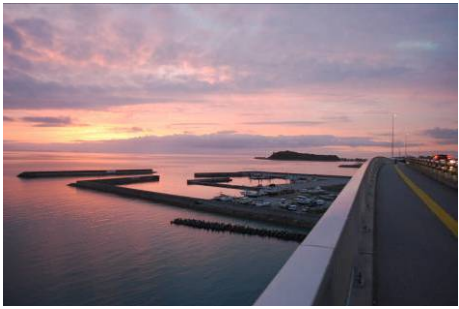

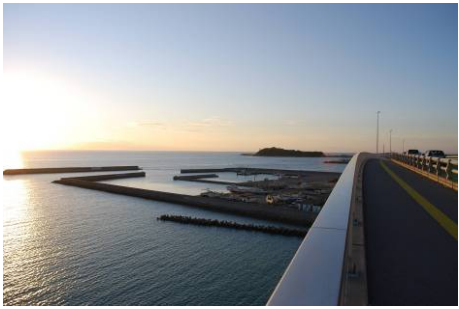


表－ 6.16.1.15 (12) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑪	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	与根漁港	
市町村	豊見城市	
眺望状況	護岸から進入灯を含む事業実施区域及び瀬長島、豊崎護岸が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.15 (13) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑫	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	しおさい公園	
市町村	豊見城市	
眺望状況	護岸から進入灯を含む事業実施区域及び瀬長島が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		










表－ 6.16.1.15 (14) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑬	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	国道 331 号豊見城道路	
市町村	豊見城市	
眺望状況	道路沿いから事業実施区域及び瀬長島、豊崎干潟が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		










表－ 6.16.1.15 (15) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑭	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	美らサンビーチ	
市町村	豊見城市	
眺望状況	展望デッキの視点場が高く、事業実施区域及び瀬長島、豊崎海浜公園が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.15 (16) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑮	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	美々ビーチいとまん	
市町村	糸満市	
眺望状況	ビーチ内の石橋から事業実施区域及び瀬長島、岡波島が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.15 (17) 主要な眺望景観の状況

地点番号	⑩	眺望点：視点場（近景）
眺望点名	西崎護岸	
市町村	糸満市	
眺望状況	護岸から事業実施区域及び瀬長島が一望できる。	
【季節】	【日中】	【夕方】
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

(b) 主要な眺望景観の価値の把握

主要な眺望景観について、普遍価値（自然性、眺望性、利用性）及び固有価値（固有性、郷土性、親近性）に区分し、その価値を把握した。

価値の把握については、表－ 6.16.1.16 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.16 (1) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観の状況	価値軸	認識項目	有する価値
① 那覇空港ターミナル			
	普遍価値	自然性	空港施設が占める割合が大きい。眺望を遮る建物等が少なく広い視野を確保できる。
		利用性	空港利用者に限られるものの、県内外の観光客やビジネスマン等の多くの利用者が眺望する。
	固有価値	固有性	空港施設及び海域を一望できる。
		親近性	展望デッキ等で、休憩や航空機の観察等の利用がみられる。
② 瀬長島（山腹-西向き）			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合がほとんどない。眺望を遮る建物等がなく広い視野を確保できる。
		利用性	現在は、瀬長島の開発工事のため利用性は低い、工事終了後は誰でも利用が可能である。
	固有価値	固有性	瀬長島の植生、岩盤、海域を一望できる。
		親近性	アマミキヨにまつわる伝説があり、御嶽等の利用など地元住民に親しまれている。
③ 瀬長島（山頂-大嶺崎向き）			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。眺望を遮る建物等はないものの、瀬長島の開発工事のため眺望点が失われている。
		利用性	瀬長島の開発工事のため、現在は利用できなくなっている。
	固有価値	固有性	瀬長島の植生、岩盤、海域を一望できる。
		親近性	アマミキヨにまつわる伝説があり、御嶽等の利用など地元住民に親しまれている。
④ 瀬長島（山頂-西向き）			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合がほとんどない。眺望を遮る建造物等はないものの、瀬長島の開発工事のため眺望点が失われている。
		利用性	瀬長島の開発工事のため、現在は利用できなくなっている。
	固有価値	固有性	瀬長島の植生、岩盤、海域を一望できる。
		親近性	アマミキヨにまつわる伝説があり、御嶽等の利用など地元住民に親しまれている。
⑤ 海上			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合がほとんどない。眺望を遮る建物等がなく広い視野を確保できる。
		利用性	漁業者以外の利用者は少ない。
	固有価値	固有性	海域、大嶺崎を含む自然海岸及び瀬長島を一望できる。
		親近性	戦前から、漁業者等に利用されている。

表－ 6.16.1.16 (2) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観の状況	価値軸	認識項目	有する価値
⑥航空機内			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が自然と同程度である。眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	航空機等の利用者に限定される。
	固有価値	固有性	高い眺望点を有し、空港、砂浜、藻場、サンゴ礁など様々な景観資源を一望できる。
		親近性	郷土性、親近性は低い。
⑦瀬長島サンセットパーク			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さく、自然性は高い。眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	地元住民や観光客など多くの利用者訪れており、浜遊びや休憩などの場所として利用している。
	固有価値	固有性	現空港、大嶺崎、砂浜、海域を一望できる。
		親近性	アマミキヨにまつわる伝説があり、憩いの場所として地元住民に親しまれている。
⑧那覇港			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。眺望を遮る建造物等はないものの、現在の地形により事業実施区域のほとんどが遮られる。
		利用性	観光客等の利用は少なく、専ら地元住民に釣りなどに利用されている。
	固有価値	固有性	那覇港から事業実施区域の一部を眺望できる。
		親近性	埋立地であり、利用者も少なく、日常的な利用は見られない。
⑨うみそらトンネル換気塔			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が大きい。眺望を遮る建造物等はないものの、空港施設等により事業実施区域のほとんどが遮られる。
		利用性	現時点で一般利用はできないものの、今後開設されれば利用者が見込まれる。
	固有価値	固有性	空港施設及びその沖合を望む景観を一望できる。
		親近性	施設はまだ公開されていないが、今後利用が期待され、展望室からの眺望利用が考えられる。
⑩保栄茂			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。眺望を遮る建造物等はないものの、現在の地形により事業実施区域のほとんどが遮られる。
		利用性	観光客等の利用は少なく、専ら地元住民に利用されている。
	固有価値	固有性	大嶺崎、瀬長島、国道 331 号豊見城道路、数珠森などの景観資源を一望できる。
		親近性	生活圏内に溶け込んだ景観であるとともに、地元のシンボルである瀬長島及び数珠森が眺望できる。

表－ 6.16.1.16 (3) 主要な眺望景観の価値の状況

主要な眺望景観の状況	価値軸	認識項目	有する価値
⑪与根漁港			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。 眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	観光客等の利用は少なく、専ら地元住民に釣りなどに利用されている。
	固有価値	固有性	瀬長島と及び与根干潟を一望できる。
		親近性	埋立地であるものの、地元住民に親しまれている場所である。
⑫しおさい公園			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。 眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	観光客等の利用は少なく、専ら地元住民に休憩などに利用されている。
	固有価値	固有性	瀬長島及び与根干潟の一部を一望できる。
		親近性	埋立地であるものの、地元住民に親しまれている場所である。
⑬国道 331 号豊見城道路			
	普遍価値	自然性	与根漁港が占める割合が大きいものの、海域を見渡すことができる。 眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	地元住民や観光客など多くの方が通行やジョギングなどに利用している。
	固有価値	固有性	事業実施区域近傍で瀬長島を高い視点から望むことができる。
		親近性	平成 18 年に開通した道路であり、地元住民や観光客など多くの方が利用している。
⑭美らサンビーチ			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が大きいものの、植栽等が施されている。 眺望を遮る建物等がなく、広い視野を確保できる。
		利用性	地元住民や観光客など多くの方が利用している。
	固有価値	固有性	瀬長島及び与根干潟を一望できる。
		親近性	平成 22 年にオープンした人工ビーチであり、地元住民を中心に多くの方が利用している。
⑮美々ビーチいとまん			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。 眺望を遮る建造物等はないものの、事業実施区域から距離が離れているため眺望性は低い。
		利用性	地元住民や観光客など多くの方が利用している。
	固有価値	固有性	瀬長島、岡波島、西崎干潟を一望できる。
		親近性	平成 18 年にオープンした人工ビーチであり、地元住民や観光客など多くの方が利用している。
⑯西崎護岸			
	普遍価値	自然性	人工物が占める割合が小さい。 眺望を遮る建造物等はないものの、事業実施区域から距離が離れているため眺望性は低い。
		利用性	観光客等の利用は少なく、専ら地元住民に釣りやウォーキングなどに利用されている。
	固有価値	固有性	瀬長島、岡波島、西崎干潟を一望できる。
		親近性	埋立地であるものの、地元住民に親しまれている場所である。

表－ 6.16.1.17 主要な眺望点と認識項目の関係

主要な眺望点		価値軸		固有価値	
		認識項目		普遍価値	固有価値
		自然性	利用性	固有性	親近性
①	那覇空港ターミナル		○	◎	
②	瀬長島(山腹-西向き)	○	○	○	○
③	瀬長島(山頂-大嶺崎向き)	○			○
④	瀬長島(山頂-西向き)	○			○
⑤	海上	○		○	○
⑥	航空機内			◎	
⑦	瀬長島サンセットパーク	○	○	○	○
⑧	那覇港	○		○	
⑨	うみそらトンネル換気塔			○	
⑩	保栄茂	○		◎	○
⑪	与根漁港	○		○	○
⑫	しおさい公園	○			○
⑬	国道 331 号豊見城道路	○	○	○	
⑭	美らサンビーチ	○	○	○	
⑮	美々ビーチいとまん	○	○	○	
⑯	西崎護岸	○	○		○

注) 表中の○は価値が高いことを示す。◎は特に価値が高いことを示す。

(イ) 圍繞景観の状況

ア) 景観区の区分

事業実施区域周辺の圍繞景観について、以下の景観区分を行い、事業実施区域内外においてそれぞれの景観区分を網羅するよう圍繞景観の地点を設けた。

景観区の区分の結果は、表－ 6.16.1.18 及び図－ 6.16.1.10 に示すとおりである。

(a) 地学要素

岩盤、泥岩、転石、砂礫、砂、砂泥、泥

(b) 生物要素

サンゴ：10%未満、10%以上 30%未満

藻場：10%未満、10%以上 20%未満、20%以上 30%未満

(c) 自然現象

海域（干出域、冠水域）、海中、陸域

(d) 人文要素

事業実施区域内、事業実施区域外

表－ 6.16.1.18 圍繞景観の景観区分の結果

区分		NO.	地形区分	
海域	事業実施区域外	1	岩盤	
		2	砂泥	
		3	砂礫	
		4	藻場10%未満	
		5	藻場10～30%未満	
		6	砂泥	
		7	砂礫	
		8	砂礫	
		9	泥岩	
		10	岩盤	
		11	砂礫	
		12	藻場10%未満	
		13	藻場10～20%未満	
		14	砂礫	
		15	砂	
		16	転石	
		17	泥	
	事業実施区域内	干出域	18	サンゴ10～30%未満
			19	サンゴ10%未満
			20	砂
			21	サンゴ10～30%未満
			22	岩盤
			23	サンゴ10%未満
		冠水域	24	砂泥
			25	砂泥
			26	砂礫

区分		NO.	地形区分	
海域	事業実施区域内	冠水域	1	砂泥
			2	サンゴ10%未満
		干出域	3	藻場10～20%未満
			4	藻場10%未満
			5	砂礫
			6	岩盤
陸域		1	砂浜	
		2	草地	
		3	砂浜-海浜植生	
		4	草地	
		5	ギンネム	
		6	岩場-海浜植生	
		7	砂浜	
		8	草地	
		9	ギンネム	
海中		1	北側(サンゴ、砂)	
		2	南側(サンゴ)	

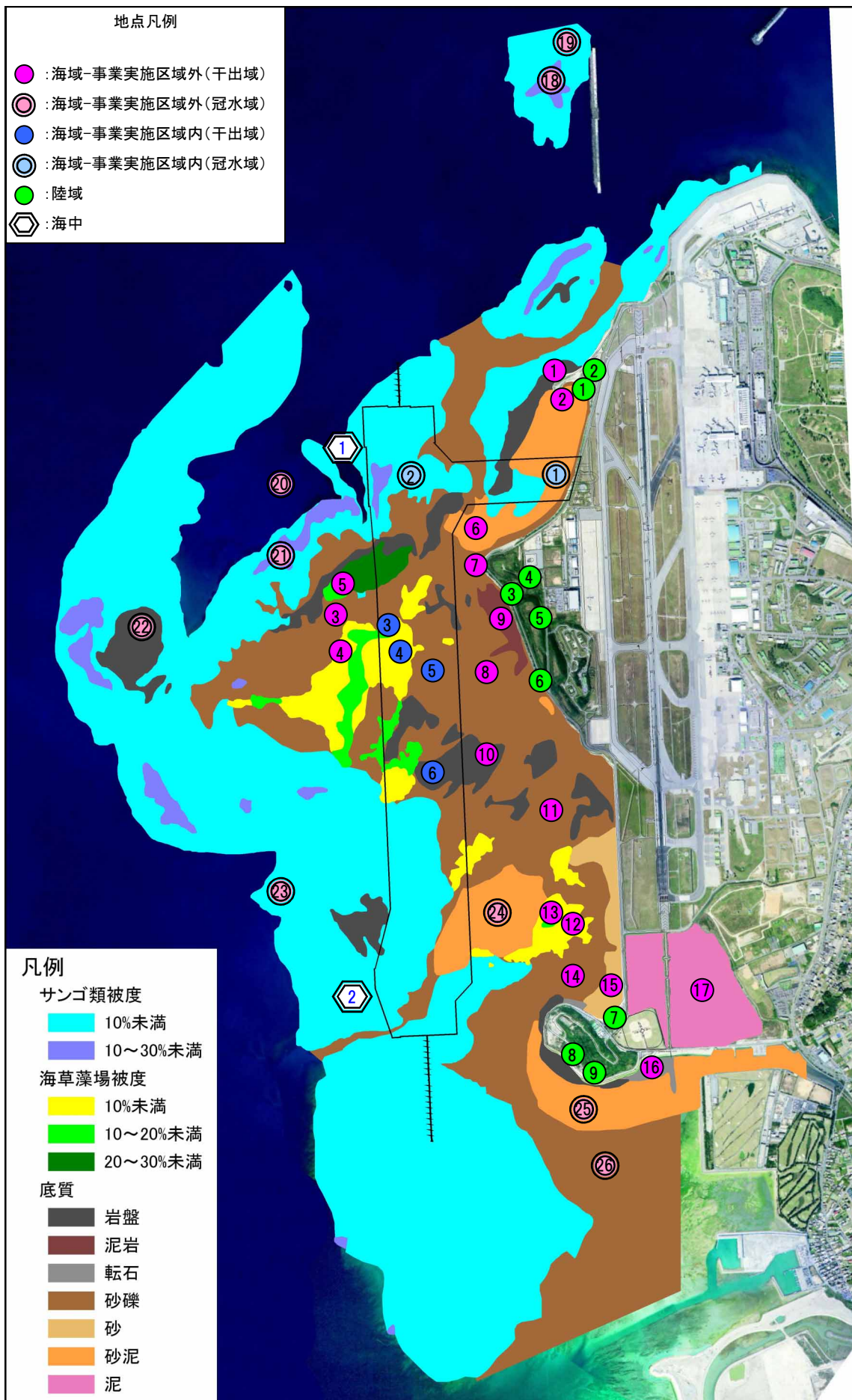















図- 6.16.1.10 围绕景观の景观区分の結果

イ) 围绕景观的状况

(a) 围绕景观的状态把握

区分した各景观区の状况は、表－ 6.16.1.19～表－ 6.16.1.22 に示すとおりである。
 海域及び海中については、東西南北の方角で写真を撮影しており、陸域については主にその場の状况を把握できる向きで撮影を行った。


















表－ 6.16.1.19 (1) 景观区の状况 (海域-事业实施区域外)

景观区番号	1			
基盤	岩盤			
場所の区分	海域-事业实施区域外			
GPS値	26° 12. 475'			
	127° 38. 441'			
景观区の場の状况				
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6. 16. 1. 19 (2) 景観区の状況（海域-事業実施区域外）

景観区番号	2			
基盤	砂泥			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 12. 421'			
	127° 38. 453'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				















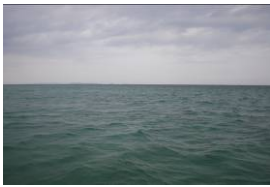


表－ 6.16.1.19 (3) 景観区の状態 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	3			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 11. 938'			
	127° 37. 832'			
景観区の状態				
写真撮影日	冬季：H23/3/9 春季：H23/5/3 夏季：H23/8/14 秋季：H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (4) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	4			
基盤	藻場 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 910' 127° 37. 836'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季 : H23/3/9 春季 : H23/5/3 夏季 : H23/8/14 秋季 : H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				
















表－ 6.16.1.19 (5) 景観区の状態 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	5			
基盤	藻場 10～30%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 789' 127° 37. 848'			
景観区の状態				
写真撮影日	冬季 : H23/3/9 春季 : H23/5/3 夏季 : H23/8/14 秋季 : H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (6) 景観区の状況（海域-事業実施区域外）

景観区番号	6			
基盤	砂泥			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 12. 048' 127° 38. 366'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (7) 景観区の状況（海域-事業実施区域外）

景観区番号	7			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 926'			
	127° 38. 178'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/4 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (8) 景観区の状態 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	8			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 855' 127° 38. 180'			
景観区の状態				
写真撮影日	冬季 : H23/2/21 春季 : H23/4/19 夏季 : H23/8/14 秋季 : H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (9) 景観区の状況（海域-事業実施区域外）

景観区番号	9			
基盤	泥岩			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 768'			
	127° 38. 264'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/19 夏季：H23/7/4 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (10) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	10			
基盤	岩盤			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 399' 127° 38. 431'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/21 春季：H23/5/3 夏季：H23/7/4 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (11) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	11			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 11. 303'			
	127° 38. 428'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/21 春季：H23/5/3 夏季：H23/7/4 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (12) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	12			
基盤	藻場 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 894'			
	127° 38. 441'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季 : H23/3/9 春季 : H23/4/21 夏季 : H23/7/4 秋季 : H23/11/24			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (13) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	13			
基盤	藻場 10～20%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 913'			
	127° 38. 451'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季 : H23/3/9 春季 : H23/4/21 夏季 : H23/7/4 秋季 : H23/11/24			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.19 (14) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	14			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 10. 662' 127° 38. 531'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/21 春季：H23/4/19 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/24			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				









表－ 6.16.1.19 (15) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	15			
基盤	砂			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 677'			
	127° 38. 573'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/21 春季：H23/4/19 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/24			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (16) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	16			
基盤	転石			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
G P S 値	26° 10. 419' 127° 38. 646'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/2/21 春季：H23/4/21 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (17) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	17	
基盤	泥	
場所の区分	海域-事業実施区域外	
GPS値	26° 10. 726'	
	127° 39. 012'	
写真撮影日	冬季：H23/2/27 春季：H23/4/21 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13	
	具志干潟 1	具志干潟 2
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6.16.1.19 (18) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	18			
基盤	サンゴ 10～30%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 13. 365'			
	127° 38. 450'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (19) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	19			
基盤	サンゴ 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 13. 207'			
	127° 38. 334'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (20) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	20			
基盤	砂			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 12. 122'			
	127° 37. 489'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (21) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	21			
基盤	サンゴ 10～30%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 11. 895'			
	127° 37. 513'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (22) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	22			
基盤	岩盤			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 11. 600'			
	127° 37. 380'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (23) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	23			
基盤	サンゴ 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 787'			
	127° 37. 652'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (24) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	24			
基盤	砂泥			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 909'			
	127° 38. 259'			
写真撮影日	冬季：H23/3/11 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (25) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	25			
基盤	砂泥			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 417'			
	127° 38. 247'			
写真撮影日	冬季：H23/3/11 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/28			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.19 (26) 景観区の状況 (海域-事業実施区域外)

景観区番号	26			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域外			
GPS値	26° 10. 163'			
	127° 38. 492'			
写真撮影日	冬季：H23/3/11 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/28			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.20 (1) 景観区の状況 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	1			
基盤	砂泥			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
GPS値	26° 12. 154'			
	127° 38. 388'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.20 (2) 景観区の状況 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	2			
基盤	サンゴ 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
GPS値	26° 12. 150'			
	127° 38. 874'			
写真撮影日	冬季：H23/3/14 春季：H23/5/26 夏季：H23/8/22 秋季：H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				


















表－ 6.16.1.20 (3) 景観区の状態 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	3			
基盤	藻場 10～20%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
G P S 値	26° 11. 870' 127° 37. 881'			
景観区の状態				
写真撮影日	冬季 : H23/2/21 春季 : H23/5/3 夏季 : H23/8/14 秋季 : H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				



表－ 6.16.1.20 (4) 景観区の状況 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	4			
基盤	藻場 10%未満			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
G P S 値	26° 11. 823' 127° 37. 881'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季 : H23/2/21 春季 : H23/5/3 夏季 : H23/8/14 秋季 : H23/11/26			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.20 (5) 景観区の状況 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	5			
基盤	砂礫			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
GPS値	26° 11. 885'			
	127° 38. 080'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/3/9 春季：H23/4/19 夏季：H23/8/14 秋季：H23/11/13			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.20 (6) 景観区の状況 (海域-事業実施区域内)

景観区番号	6			
基盤	岩盤			
場所の区分	海域-事業実施区域内			
GPS値	26° 11. 747'			
	127° 38. 109'			
景観区の場の状況				
写真撮影日	冬季：H23/3/9 春季：H23/5/3 夏季：H23/8/14 秋季：H23/11/13			
	1	2		
冬季				
春季				
	北	西	南	東
夏季				
秋季				



表－ 6.16.1.21 (1) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	1	
基盤	砂浜	
場所の区分	陸域	
GPS値	26° 12. 438'	
	127° 38. 543'	
写真撮影日	冬季：H23/2/19 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
	1	2
冬季		
春季		
夏季		
秋季		









表一 6.16.1.21 (2) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	2		
基盤	草地		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 12. 468'		
	127° 38. 527'		
写真撮影日	冬季 : H23/2/27		夏季 : H23/7/3
	春季 : H23/4/16		秋季 : H23/10/27
冬季		夏季	
			





表一 6.16.1.21 (3) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	3		
基盤	砂浜-海浜植生		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 11. 912'		
	127° 38. 202'		
写真撮影日	冬季 : H23/3/9		夏季 : H23/7/4
	春季 : H23/4/19		秋季 : H23/10/27
冬季		夏季	
			

表－ 6.16.1.21 (4) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	4	
基盤	草地	
場所の区分	陸域	
GPS値	26° 11. 912'	
	127° 38. 343'	
写真撮影日	冬季：H23/2/27 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
	1	2
冬季		
春季		
夏季		
秋季		

表－ 6. 16. 1. 21 (5) 景観区の状況（陸域）

景観区番号	5		
基盤	ギンネム		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 11. 793'		
	127° 38. 413'		
写真撮影日	冬季：H23/2/27 春季：H23/4/16	夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
冬季		夏季	
春季		秋季	





表－ 6. 16. 1. 21 (6) 景観区の状況（陸域）

景観区番号	6		
基盤	岩場-海浜植生		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 11. 571'		
	127° 38. 400'		
写真撮影日	冬季：H23/3/9 春季：H23/4/16	夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
冬季		夏季	
春季		秋季	




表－ 6.16.1.21 (7) 景観区の状況（陸域）

景観区番号	7	
基盤	砂浜	
場所の区分	陸域	
GPS値	26° 10. 599'	
	127° 38. 585'	
写真撮影日	冬季：H23/3/9 春季：H23/4/16 夏季：H23/7/3 秋季：H23/11/13	
	1	2
冬季		
春季		
夏季		
秋季		









表－ 6.16.1.21 (8) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	8		
基盤	草地		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 10. 469'		
	127° 38. 502'		
写真撮影日	冬季：H23/2/27 春季：H23/4/16	夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
冬季		夏季	
春季		秋季	

















表－ 6.16.1.21 (9) 景観区の状況 (陸域)

景観区番号	9		
基盤	ギンネム		
場所の区分	陸域		
GPS値	26° 10. 417'		
	127° 38. 609'		
写真撮影日	冬季：H23/2/27 春季：H23/4/16	夏季：H23/7/3 秋季：H23/10/27	
冬季		夏季	
春季		秋季	

表－ 6.16.1.22 (1) 景観区の状況 (海中)

景観区番号	1			
基盤	北側 (サンゴ、砂)			
場所の区分	海中			
GPS値	26° 12. 251'			
	127° 38. 772'			
写真撮影日	冬季 : H23/3/14 春季 : H23/5/26 夏季 : H23/8/22 秋季 : H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

表－ 6.16.1.22 (2) 景観区の状況 (海中)

景観区番号	2			
基盤	南側 (サンゴ)			
場所の区分	海中			
GPS値	26° 10. 550'			
	127° 38. 864'			
写真撮影日	冬季 : H23/3/14 春季 : H23/5/26 夏季 : H23/8/22 秋季 : H23/10/21			
	北	西	南	東
冬季				
春季				
夏季				
秋季				

(b) 圍繞景観の価値の把握

圍繞景観について、普遍価値（自然性、利用性）及び固有価値（固有性、親近性）に区分し、その価値を把握した。

価値の把握については、表－ 6.16.1.23 に示すとおりである。

表－ 6.16.1.23 (1) 圍繞景観の価値の状況

区分		価値軸	認識項目	価値の状況
海域	事業実施区域外	普遍価値	自然性	干出域には、砂、砂礫、転石、岩盤、泥岩、泥、砂泥、藻場が、冠水域には、砂、砂礫、転石、岩盤、砂泥、サンゴ類が分布しており、多様な自然環境が広がっている。人工構造物もない。 また、既存護岸から離れている事業実施区域沖合においては、空間的な広がりがあり人工物等の圧迫感を感じられない。岸側では、人工護岸などの存在により多少圧迫感を感じられる。
			利用性	大嶺崎の北側では利用性は低いものの、南側では、干出域では干潮時に釣りや潮干狩り等の利用があり、冠水域ではジェットスキーやカヌー等のマリンスポーツが行われている。
		固有価値	固有性	泥岩等の周辺では見られない地形が存在しており、藻場、サンゴ類といった生物要素が広く分布している。
			親近性	大嶺崎では現在、頻繁に利用はみられていないが、瀬長島では地元住民を中心に多くの人に利用されている。
	事業実施区域内	普遍価値	自然性	干出域には、砂礫、岩盤、藻場が分布し、冠水域には、砂泥、サンゴ類が分布しており、事業実施区域外よりも構成要素は少ないものの、多様な自然環境が広がっている。人工構造物もない。 また、既存護岸から離れており、人工物等の圧迫感を感じられない。
			利用性	干出域では干潮時に釣りや潮干狩り等の利用があるものの、冠水域では利用が少ない。
		固有価値	固有性	砂礫、岩盤、砂泥といった基盤環境に藻場、サンゴ類といった生物要素が分布している。
			親近性	大嶺崎では現在、頻繁に利用はみられていないが、瀬長島では地元住民を中心に多くの人に利用されている。

表－ 6.16.1.23 (2) 圍繞景観の価値の状況

区分	価値軸	認識項目	価値の状況
陸域	普遍価値	自然性	海浜部においては、海域～砂浜・岩礁～海浜植生へと なだらかに変化している様子がみられ、その背後には 人工護岸や空港施設が存在している。その他の陸域に ついては、瀬長島において、道路沿いにギンネムを中 心とした植物群落がみられる。 また、海浜部においては背後の護岸による圧迫感が感 じられる。一方、瀬長島においては、道路沿いに植栽 があるため日影ができることなどによる快適性が得ら れている。
		利用性	空港施設内においては一般の利用者は立ち入ることが できないものの、瀬長島においては多くの利用者が訪 れている。
	固有価値	固有性	大嶺崎や瀬長島周辺においては自然海岸の一部が残っ ており、湿地や草地、海岸植生などがみられる。
		親近性	大嶺崎では現在、頻繁に利用はみられていないが、瀬 長島では地元住民を中心に多くの人に利用されている。
海中景観	普遍価値	自然性	砂礫等の基盤環境にサンゴ類が点在している。 また、人工物がなく、空間的な広がりはあるが、やや 濁りがある。
		利用性	ダイビング等の海中を利用する者はほとんどいない。
	固有価値	固有性	砂礫等の基盤環境に、サンゴ類等の生物要素が分布し ている。
		親近性	現在、頻繁に利用はみられていない。

6.16.2 予測

工事の実施及び土地又は工作物の存在及び供用に伴う、景観への影響要因とその内容については、表－ 6.16.2.1 に示す項目が考えられる。影響の予測については、これらの影響要因について定量的及び定性的に予測した。

表－ 6.16.2.1 影響要因とその内容

項目	影響要因	影響内容
工事の実施	<ul style="list-style-type: none">・護岸の工事・埋立ての工事	<ul style="list-style-type: none">・建設機械の稼働に伴う大気汚染物質・粉じん等の影響・建設機械の稼働に伴う騒音・振動の影響・水の汚れ及び水の濁りの影響
土地又は工作物の存在及び供用時	<ul style="list-style-type: none">・埋立地の存在・飛行場の存在	<ul style="list-style-type: none">・人工物（埋立地及び飛行場）の出現・消失による景観構成要素の改変の影響・地形の変化に伴う影響
	<ul style="list-style-type: none">・航空機の運航	<ul style="list-style-type: none">・航空機騒音の影響

(1) 工事の実施

1) 予測項目

景観の予測項目は、表－ 6.16.2.2 に示すとおりである。

表－ 6.16.2.2 予測項目

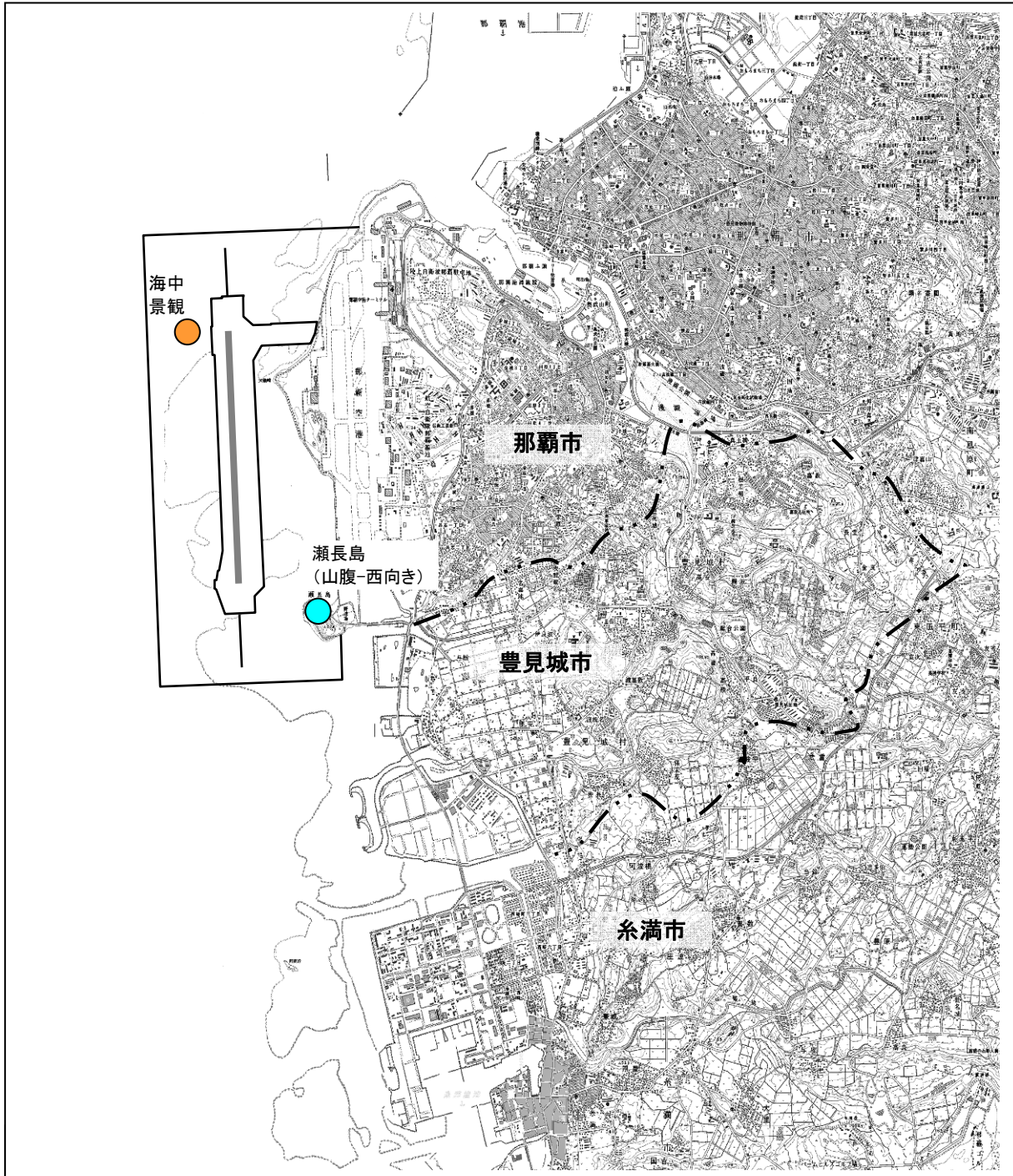
項目	影響要因	予測項目	
工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の工事 ・埋立ての工事 	(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望景観の変化
			イ) 眺望景観の価値の変化
		(イ) 囲繞景観	ア) 場の改変の程度
			イ) 囲繞景観の価値の変化

2) 予測概要

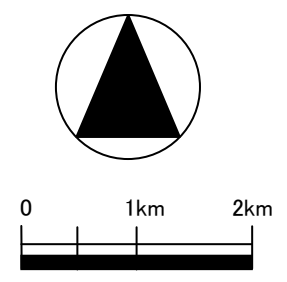
景観の予測概要は、表－ 6.16.2.3 に示すとおりである。

表－ 6.16.2.3 予測の概要

予測項目		予測位置	予測内容
(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望景観の変化	調査により得られた主要な眺望点から代表的な眺望点を設定	主要な眺望点について、視点場の状況及び眺望の改変の程度を踏まえ、主要な眺望景観について予測した。
	イ) 眺望景観の価値の変化		
(イ) 囲繞景観	ア) 場の改変の程度	事業実施区域及びその周辺における景観区分のうち代表的な地点	主要な囲繞景観について、視点場の状況及び眺めの状態の改変の程度を踏まえ、主要な囲繞景観について予測した。
	イ) 囲繞景観の価値の変化		



- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 眺望景観予測地点 (1 地点)
- : 囲繞景観予測地点 (1 地点)



図一 6.16.2.1 工事の実施時における景観の予測地点

3) 予測結果

(ア) 眺望景観の状況

ア) 主要な眺望景観の変化

主要な眺望景観のうち、表－ 6.16.1.17 に示す主要な眺望点と認識項目の関係から、価値が高いと考えられる認識項目が多く、工事の実施による影響を把握しやすいと考えられる瀬長島（山腹-西向き）を代表的な地点として抽出した。

予測地点では、工事の実施による視点場の状況の変化として、大気環境の影響を受けると考えられることから、建設機械の稼働に伴う大気汚染物質、粉じん、建設作業騒音及び建設作業振動による影響について予測した。

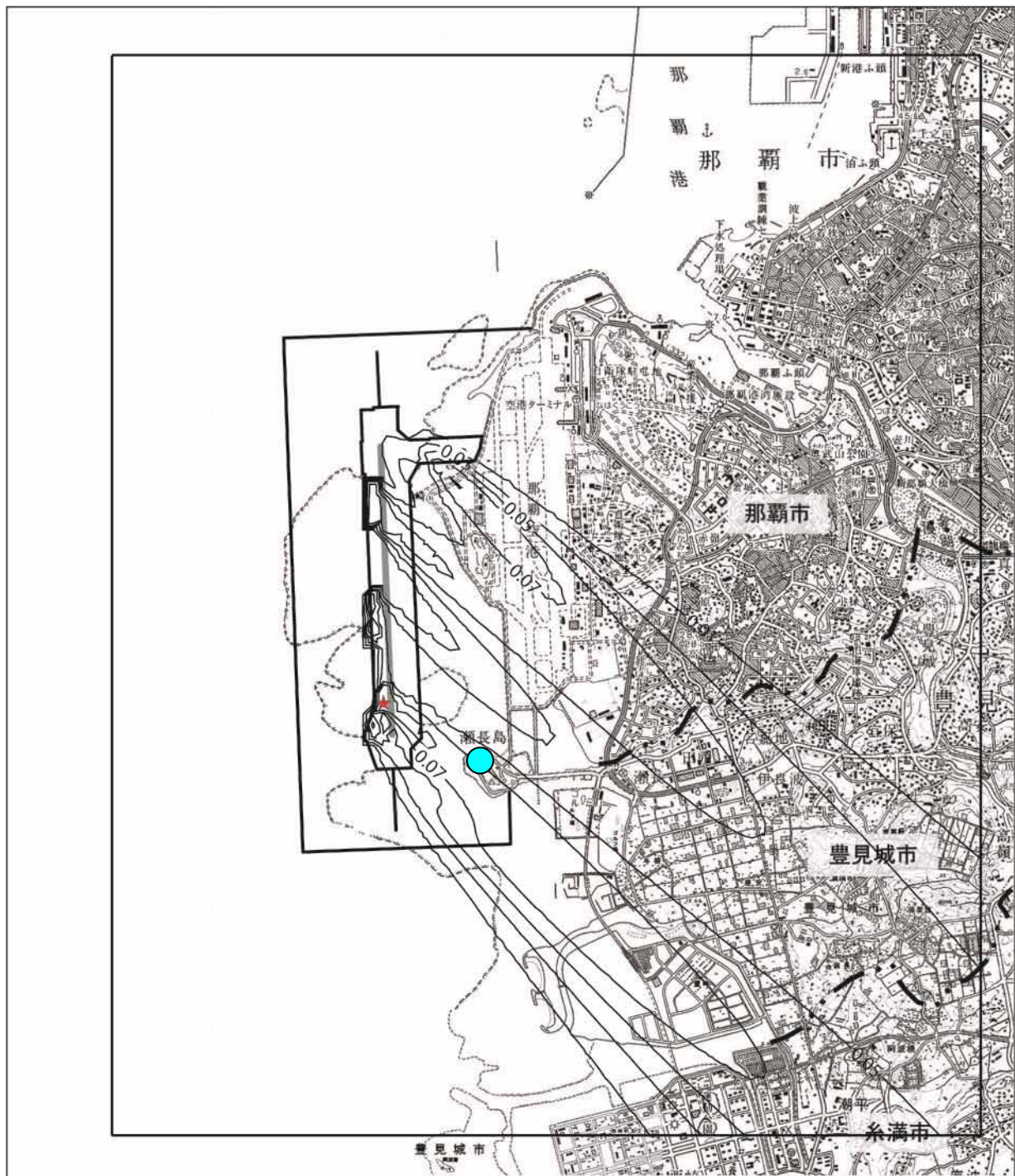
また、工事の実施による眺望景観の変化として、濁りによる影響について予測した。

(a) 視点場の状況の変化

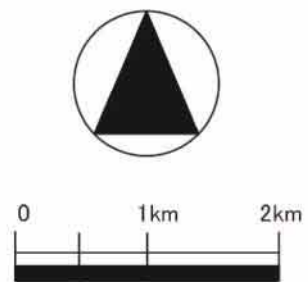
建設機械（作業船を含む）の稼働に伴う二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の1時間値の予測結果は、図－ 6.16.2.2～図－ 6.16.2.4 に示すとおりである。予測の結果、大気汚染物質（二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質）は1時間値の基準値を満たしていることから、大気汚染物質による眺望景観の視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。また、建設機械の稼働に係る粉じん等の予測結果は、瀬長島で最大 0.034t/km²/月と予測され、目標値と比べ低いレベルであることから、粉じんによる眺望景観の視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。

建設作業騒音の状況は、図－ 6.16.2.5 に示すとおりである。事業実施区域の敷地境界（事業実施区域）周辺は騒音規制法の適用を受けないが、敷地境界上における最大騒音レベルは 66dB であり、騒音規制法による特定建設作業に係る基準値(85dB 以下)を満足する結果となっていることから、騒音による眺望景観の視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。

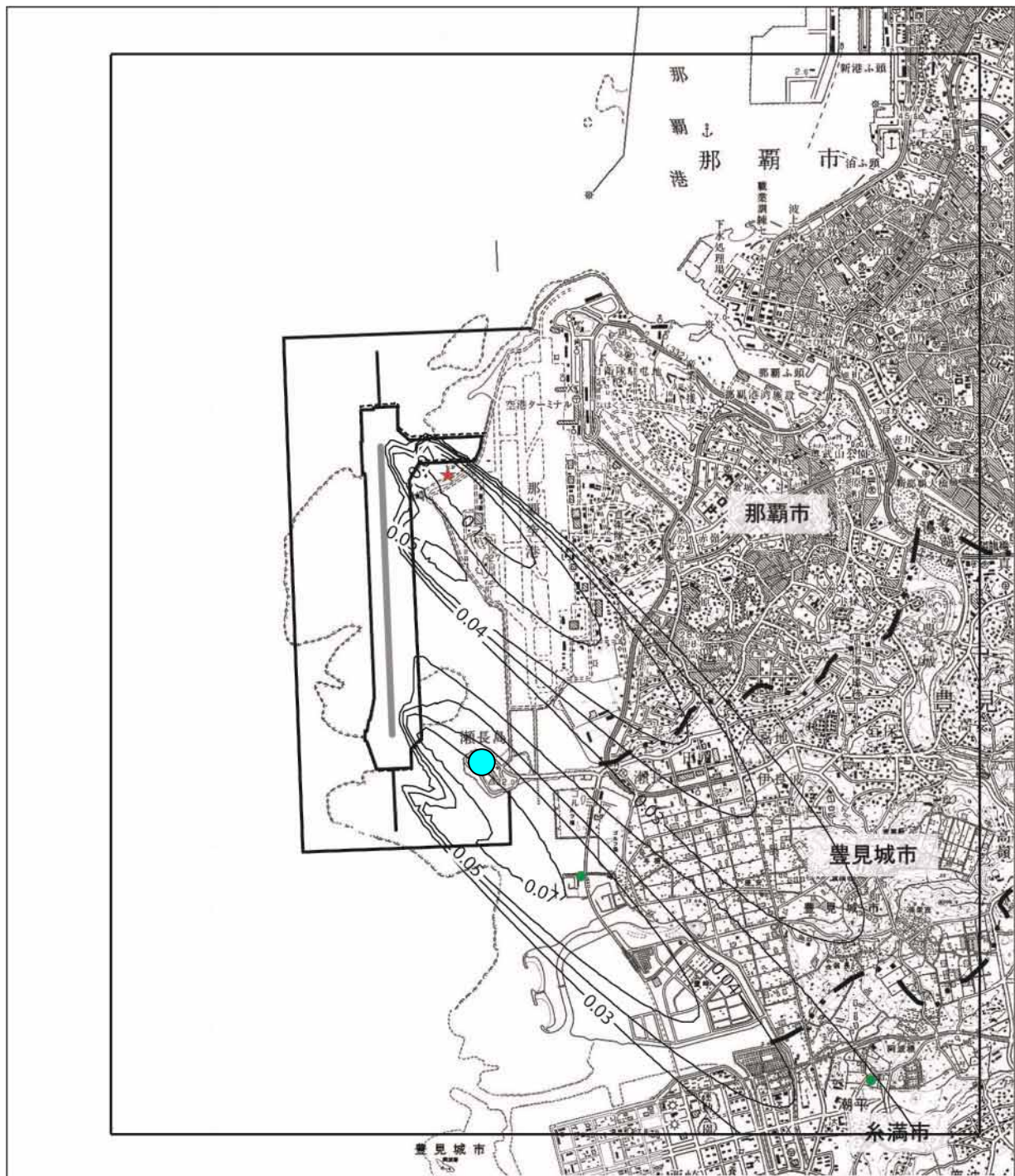
建設作業振動の状況は、図－ 6.16.2.6 に示すとおりである。事業実施区域の敷地境界（事業実施区域）周辺は振動規制法の適用を受けないが、事業実施区域の敷地境界上における最大振動レベルは 30dB 未満であり、特定建設作業に係る基準値（75dB）を満足する結果となっていることから、振動による眺望景観の視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。



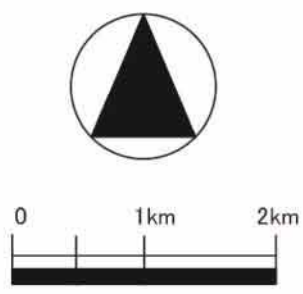
- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 二酸化窒素 (NO₂) 予測結果 (ppm)
- ★ : 二酸化窒素 (NO₂) 最大濃度地点
- : 眺望景観予測地点



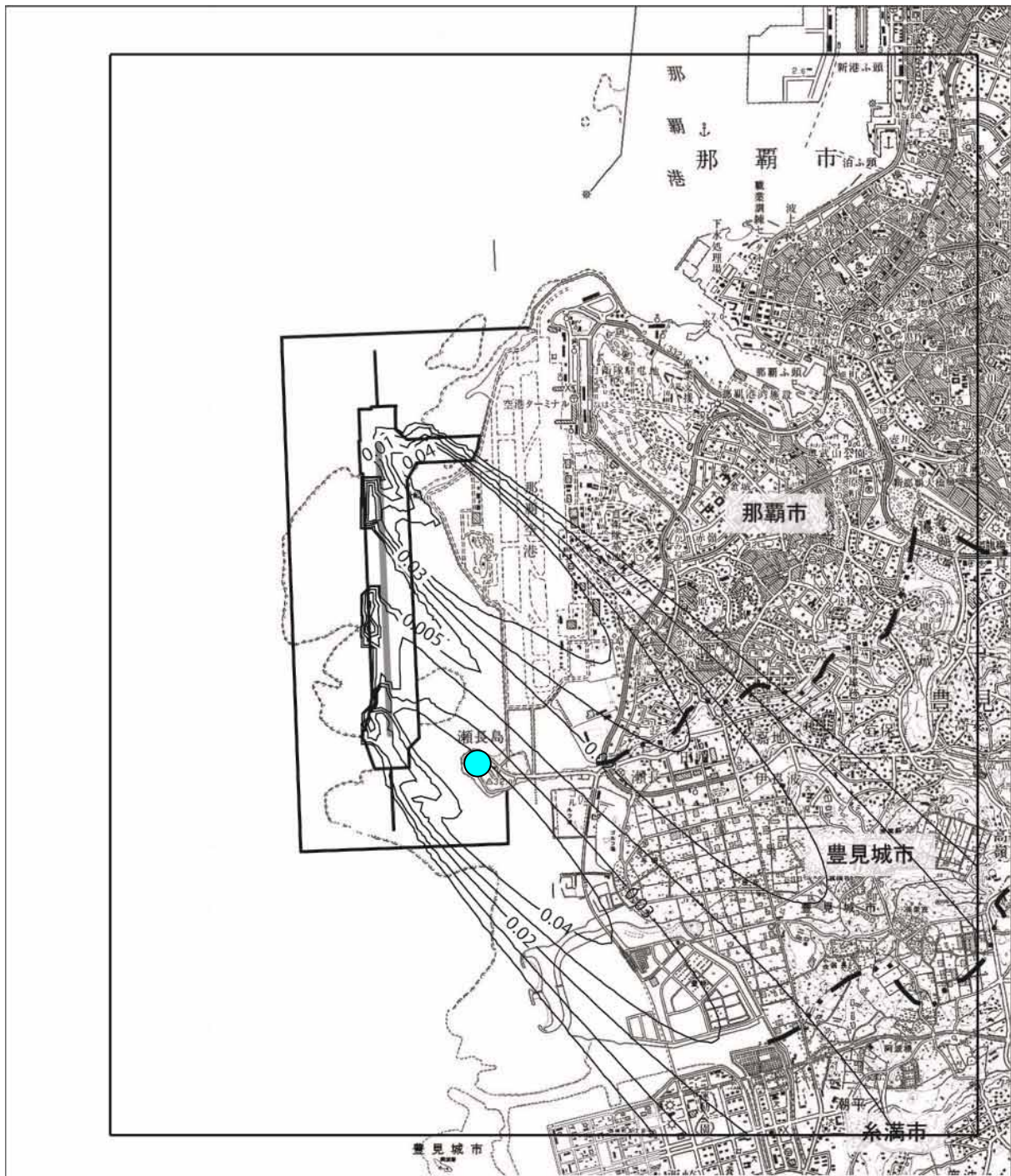
図一 6.16.2.2 大気質（二酸化窒素：NO₂）の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ



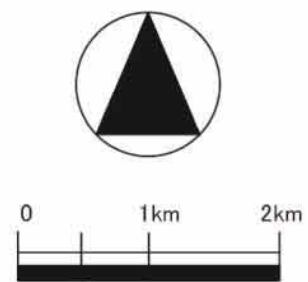
- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 二酸化硫黄 (SO₂) 予測結果 (ppm)
- ★ : 二酸化硫黄 (SO₂) 最大濃度地点
- : 眺望景観予測地点



図一 6.16.2.3 大気質（二酸化硫黄：SO₂）の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ



- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 浮遊粒子状物質 (SPM) 予測結果 (ppm)
- ★ : 浮遊粒子状物質 (SPM) 最大濃度地点
- : 眺望景観予測地点

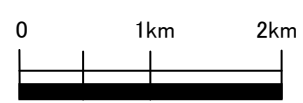
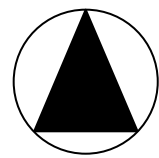


図一 6.16.2.4 大気質（浮遊粒子状物質：SPM）の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ

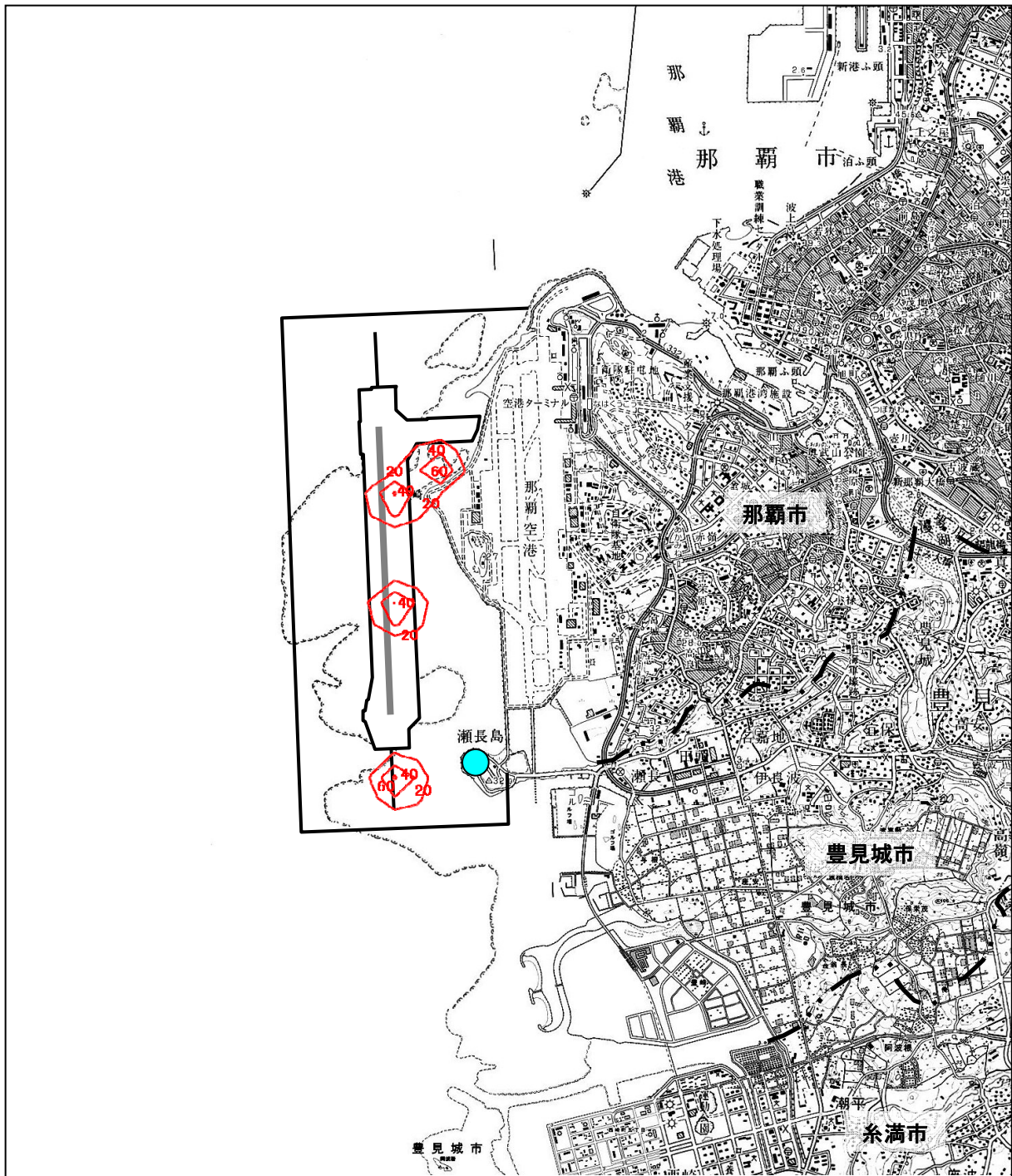


- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 眺望景観予測地点

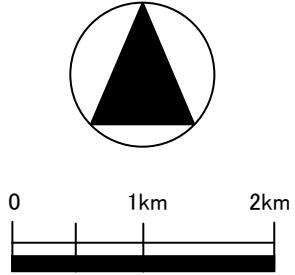
単位：dB



図一 6.16.2.5 建設作業騒音 (L_{A5}) の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ(最大時期：2年次11ヶ月目)



- : 事業実施区域
- : 市町村界
- : 眺望景観予測地点



図ー 6.16.2.6 建設作業振動 (L₁₀) の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ
(最大時期： 6年次6ヶ月目～7ヶ月目)

(b) 眺望景観の変化

工事の実施により眺望景観を変化させる要因としては、水の汚れ及び土砂による水の濁りが考えられる。

水の汚れの影響については、飛行場の存在により施設から発生する汚水排水を、流域下水道にて適正に処理することから、眺望景観への影響はないと考えられる。

水の濁りについては、眺望点近傍で水の濁りの負荷が高い 2 年次 10 ヶ月目において、汚濁防止膜を設置した際の濁りの拡散範囲について予測を行った。

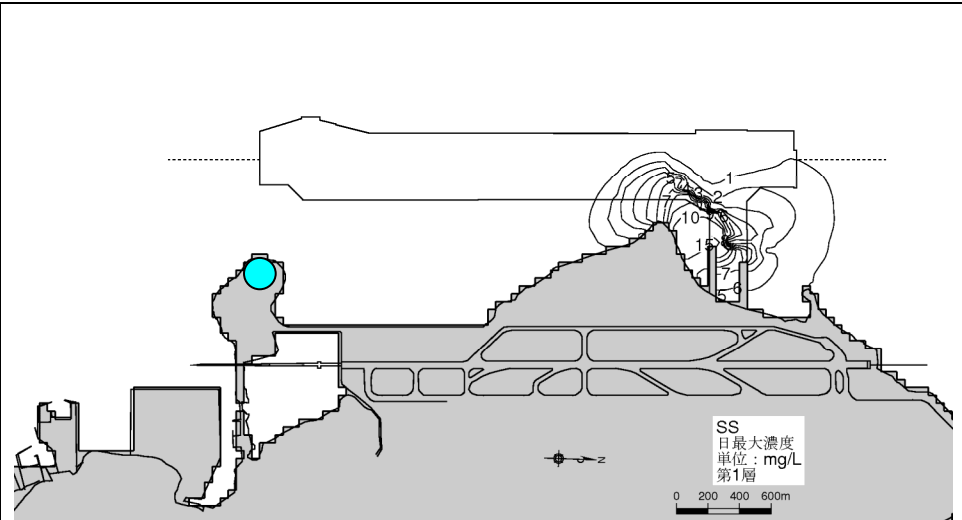
水の濁りの影響については、図－ 6.16.2.7 及び図－ 6.16.2.8 に示すとおりである。

予測地点からの眺望景観においては、施工箇所から水の濁りが拡散し、景観が変化することが考えられるものの、2mg/L 以上の SS の濃度分布は施工箇所近傍において局所的であることから、その変化は極めて小さいと考えられる。しかし、護岸及び埋立ての工事や進入灯に係る工事が瀬長島の前面海域で行われる施工期間においては、資機材等の存在により予測地点の景観構成要素が変化すると考えられる。

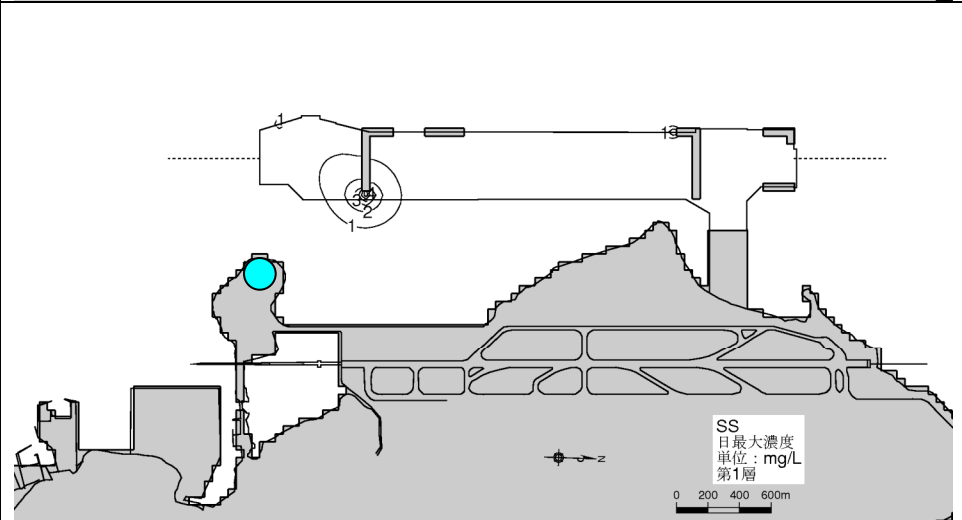


図－ 6.16.2.7 水の濁り（2年次10ヶ月目）の予測結果と眺望景観との重ね合わせ

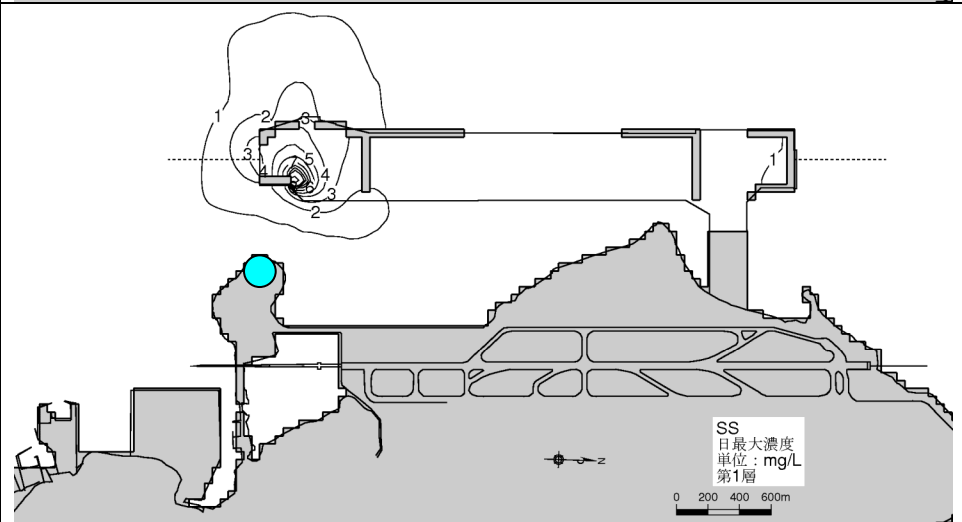
1年次3ヶ月目
夏季
第1層
(0.0~1.5m)



1年次12ヶ月目
夏季
第1層
(0.0~1.5m)



2年次10ヶ月目
夏季
第1層
(0.0~1.5m)



- : 事業実施区域
- : 眺望景観予測地点
- : 水の濁りの予測結果 (単位: mg/L)

図- 6.16.2.8 水の濁り (1年次12ヶ月目) の予測結果と眺望景観の視点場との重ね合わせ

イ) 眺望景観の価値の変化

瀬長島（山腹-西向き）において、眺めの変化から、眺望景観の価値の変化について予測した結果については、表－ 6.16.2.4 に示すとおりである。

護岸及び埋立の工事に伴い、価値の認識項目のうち、自然性、利用性、固有性が変化すると考えられる。

表－ 6.16.2.4 眺望景観の価値の変化（瀬長島（山腹-西向き））

普遍価値	自然性	護岸及び埋立の工事に伴い、資機材等の存在により予測地点の景観構成要素が変化する。
	利用性	現在、瀬長島の開発工事のため利用性は低いですが、工事終了後はホテルが建設される予定である。
固有価値	固有性	護岸及び埋立の工事に伴い、景観構成要素である岩盤及び海面の一部が消失する。
	親近性	親近性に変化はない。

(ア) 圍繞景観の状況

ア) 場の改変の程度

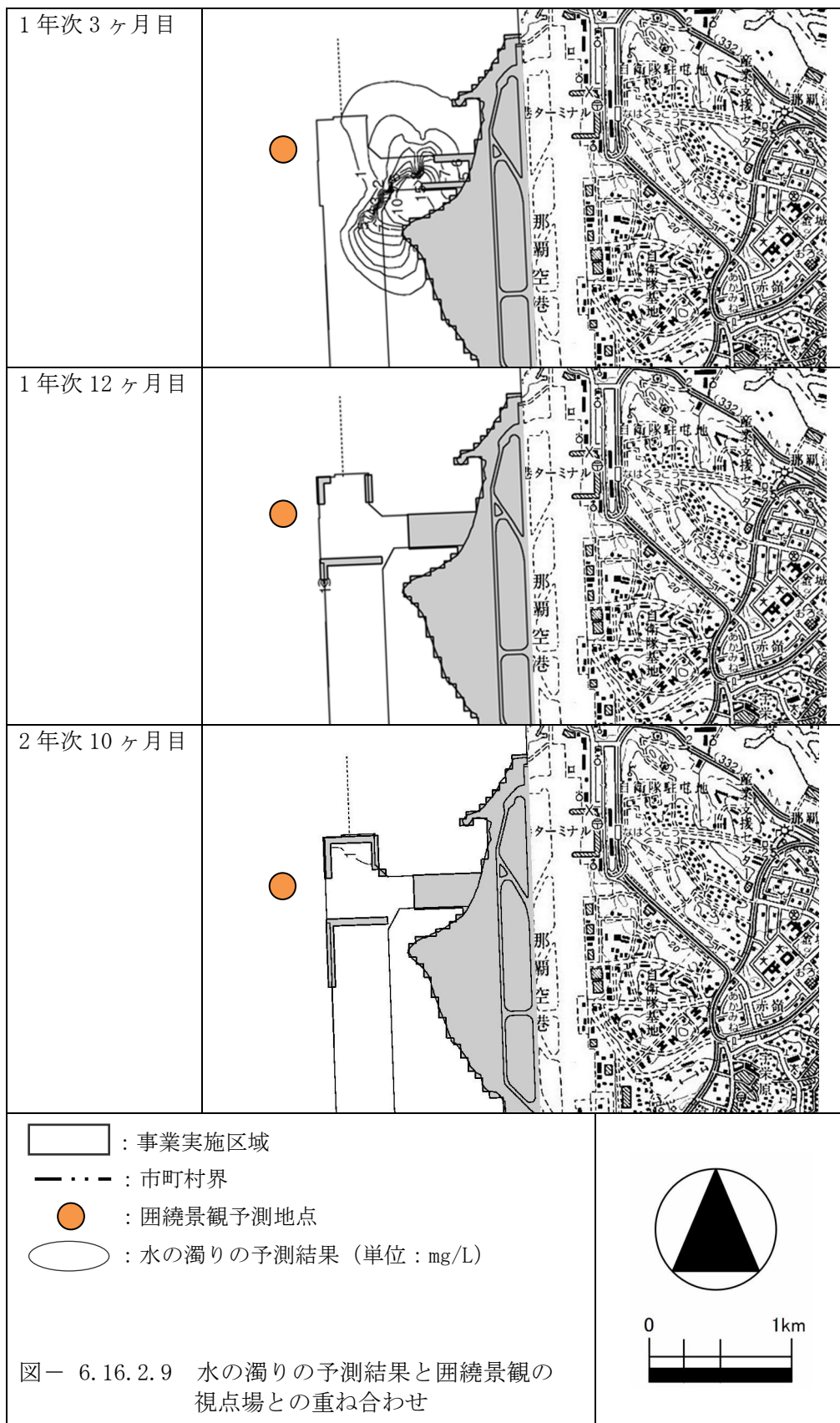
圍繞景観において、特に工事の実施による影響が大きいと考えられる海中景観の変化を把握しやすいと考えられる予測地点（海中景観）を抽出した。また、海中景観では、工事の実施により発生する水の濁りによる影響が最も大きいと考え、護岸及び埋立の工事における水の濁りの拡散範囲について予測した。

水の濁りについては、予測地点（海中景観）において最も濁りの拡散範囲が広がる時期として、水の濁りの発生量が最大となる1年次3ヶ月目及び予測地点近傍での施工である1年次12ヶ月目及び2年次10ヶ月目の状況について予測を行った。

圍繞景観の視点場と水の濁りの拡散範囲との重ね合わせは、図－6.16.2.9に示すとおりである。

1年次3ヶ月目においては、連絡誘導路付近における工事の影響により濁りの拡散が見られるものの、濁りは予測地点まで及んでいないことから、その変化は極めて小さいと考えられる。また、視点場付近で濁りが発生する1年次12ヶ月目及び2年次10ヶ月目においては、濁りの拡散はほとんどみられず、視点場から南側の地点における施工場所においても濁りの拡散は近傍に限られており視点場における変化は極めて小さいと考えられる。

一方、予測地点において景観を構成しているサンゴ類について、工事の実施に伴う濁りの発生により海域改変区域東側の閉鎖性海域や連絡誘導路北側の海域では、局所的に影響を受けると予測されていることから、圍繞景観の構成要素が変化すると考えられる。



ア) 围绕景观の価値の変化

围绕景观の価値の変化については、表－ 6.16.2.5 に示すとおりである。

埋立地の存在により、普遍価値及び固有価値はともに変化なし、もしくは低下することが考えられる。

表－ 6.16.2.5 围绕景观の価値の変化

区分	価値軸	認識項目	価値の変化
海中景观	普遍価値	自然性	工事の実施に伴う濁りの発生により、海域改変区域東側の閉鎖性海域や連絡誘導路北側の海域では、サンゴ類が局所的に影響を受けることにより、自然性が変化すると考えらる。
		利用性	濁りの発生による変化は極めて小さいと考えられるものの、工事の実施時には、利用者の安全面を考慮して工事区域内への立ち入りが制限されると考えられることから、利用性は変化すると考えられる。
	固有価値	固有性	濁りの発生により、景观を構成しているサンゴ類が局所的に影響を受けるため、当該海域の固有性（サンゴ類の分布域）が変化すると考えられる。
		親近性	現在では、利用はあまりみられていないことから、親近性の変化は極めて小さいと考えられる。

(2) 土地又は工作物の存在及び供用

1) 予測項目

景観の予測項目は、表－ 6.16.2.6 に示すとおりである。

表－ 6.16.2.6 予測項目

項目	影響要因	予測項目	
土地又は工作物の存在及び供用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地の存在 ・飛行場の存在 ・航空機の運航 	(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望景観の変化
			イ) 眺望景観の価値の変化
		(イ) 圍繞景観	ア) 場の改変の程度
			イ) 圍繞景観の価値の変化

2) 予測概要

景観の予測概要は、表－ 6.16.2.7 に示すとおりである。

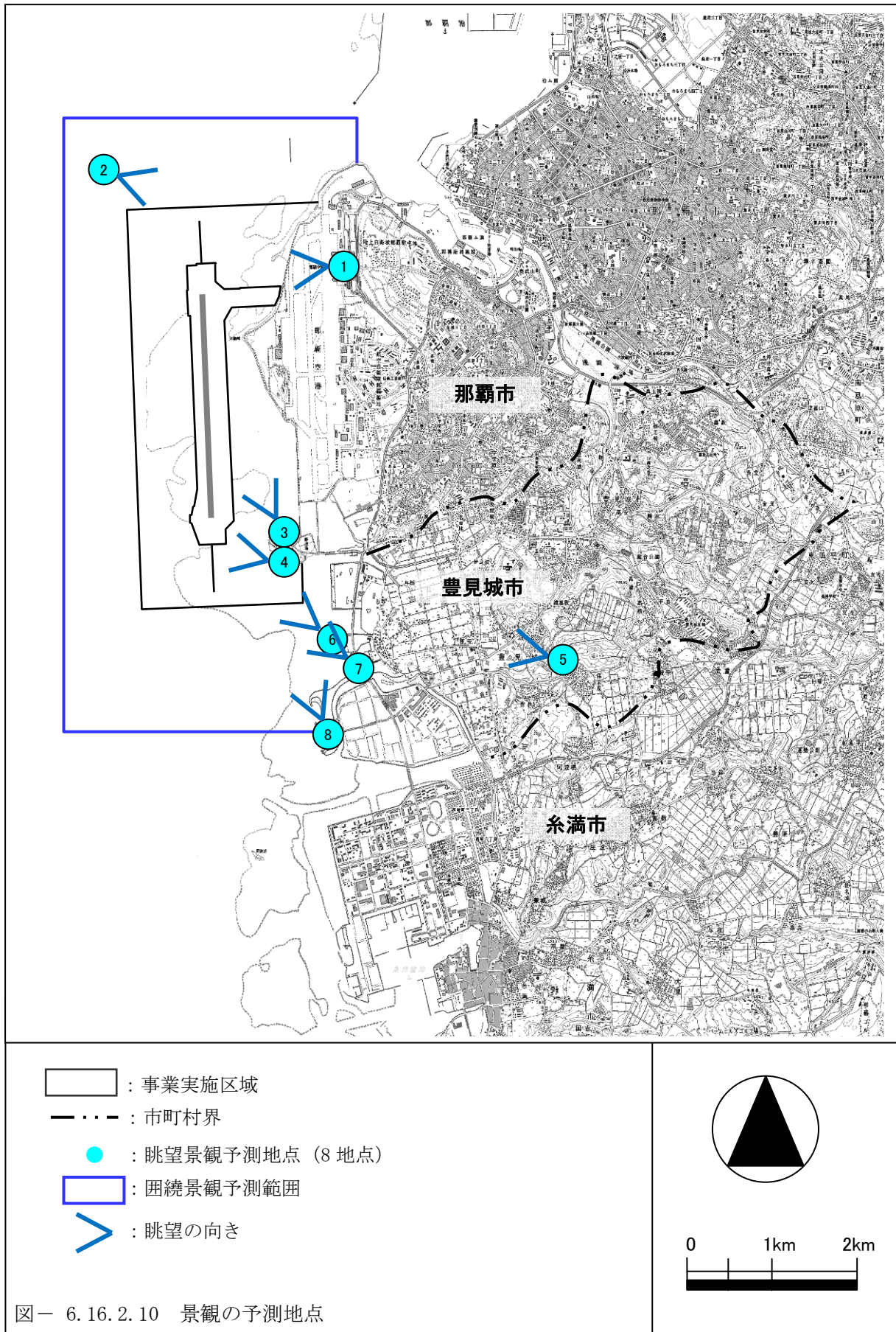
表－ 6.16.2.7 予測の概要

予測項目		予測位置	実施内容
(ア) 眺望景観	ア) 主要な眺望景観の変化	調査により得られた主要な眺望点から代表的な眺望点を設定	<p>主要な眺望景観のうち、認識項目の関係から、価値が高いと考えられる認識項目の選定数が多い8地点を表－ 6.16.2.8 に示すとおり抽出し、代表的な地点とした。</p> <p>抽出した代表地点については、埋立地及び飛行場の存在時におけるフォトモンタージュを作成し、現在の眺望景観と作成したモンタージュ画像で、景観構成要素の割合を求め予測した。</p>
	イ) 眺望景観の価値の変化		
(イ) 圍繞景観	ア) 場の改変の程度	事業実施区域及びその周辺における景観区分のうち代表的な地点	<p>景観区の区分と事業による直接改変域を地形図上で重ね合わせることにより、圍繞景観の状態が変化する景観区を抽出した上で、直接改変による改変面積率等や景観区の場、利用、眺めの状態の変化を示すことにより予測した。</p>
	イ) 圍繞景観の価値の変化		

表－ 6.16.2.8 代表的な眺望点と認識項目の関係

主要な眺望点		価値軸		固有価値	
		認識項目		普遍価値	
		自然性	利用性	固有性	親近性
①	那覇空港ターミナル		○	◎	
②	海上	○		○	○
③	瀬長島（山腹-西向き）	○	○	○	○
④	瀬長島サンセットパーク	○	○	○	○
⑤	保栄茂	○		◎	○
⑥	与根漁港	○		○	○
⑦	国道 331 号豊見城道路	○	○	○	
⑧	美らサンビーチ	○	○	○	

注) 表中の○は価値が高いことを示す。◎は特に価値が高いことを示す。



図－ 6.16.2.10 景観の予測地点

3) 予測結果

(ア) 眺望景観の状況

ア) 主要な眺望景観の変化

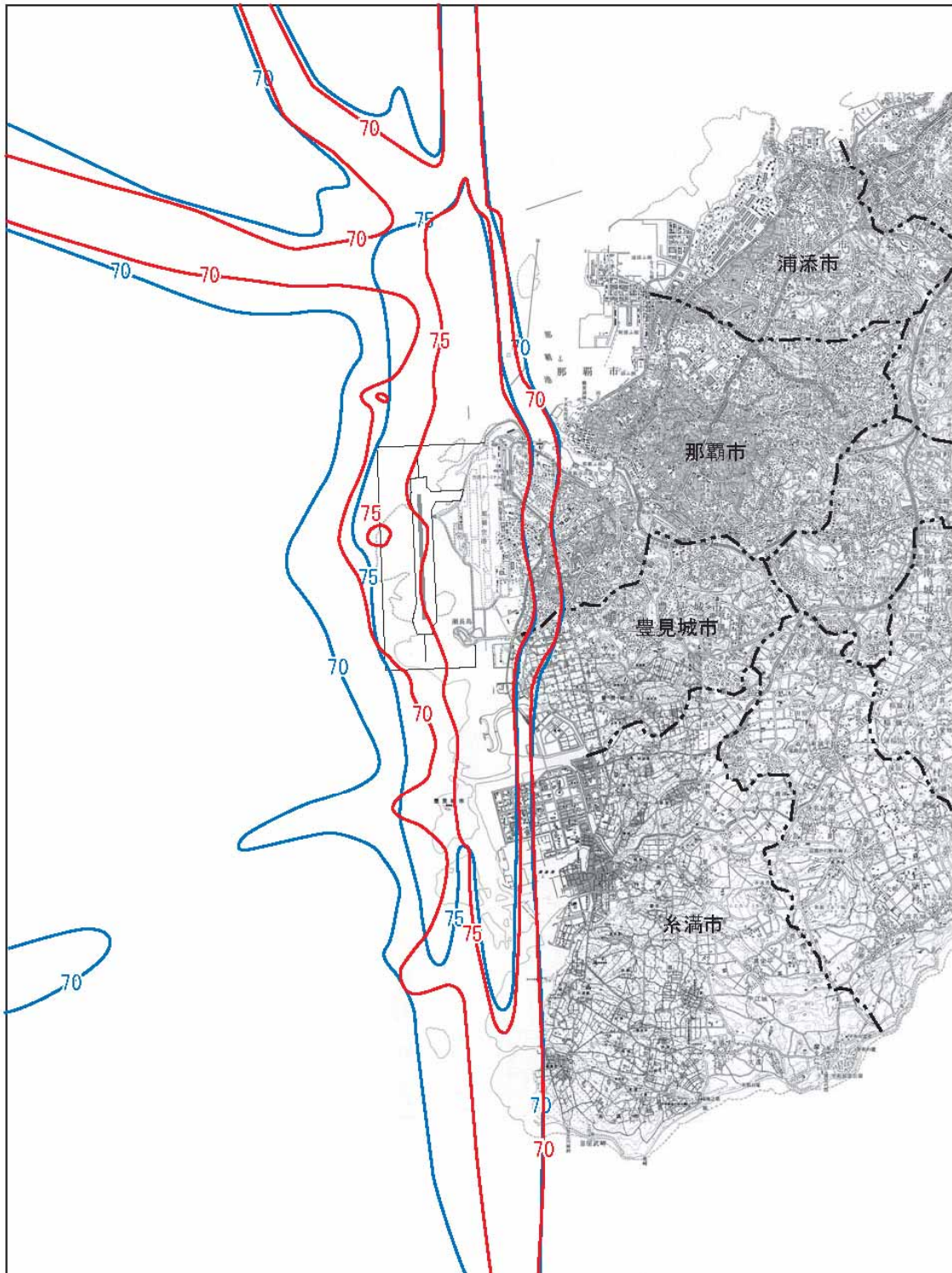
主要な眺望景観として抽出した 8 地点において埋立地及び飛行場の存在による視点場の状況の変化として、航空機騒音による影響について予測した。

(a) 視点場の状況の変化

航空機騒音の影響については、実際の運航方法について、今後、細部の検討を実施することとしており、主要なケースとして 3 ケース予測されている。このうち、主要な眺望景観における視点場への影響が大きいと考えられるケース 3（ピーク時間帯以外は現滑走路で運用する方式）について予測を行った。

航空機騒音の結果は、図－ 6.16.2.11 に示すとおりである。

この結果、航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回る結果となったことから、視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。



凡 例 (単位: WECPNL)

□ : 事業実施区域 - - - : 市町村界

— (Red) : 現況 民航機+自衛隊機
 — (Blue) : 将来 民航機+自衛隊機

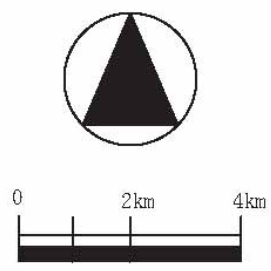


図- 6.16.2.11 土地又は工作物の存在及び供用時における航空機騒音による影響

(b) 眺望景観の変化

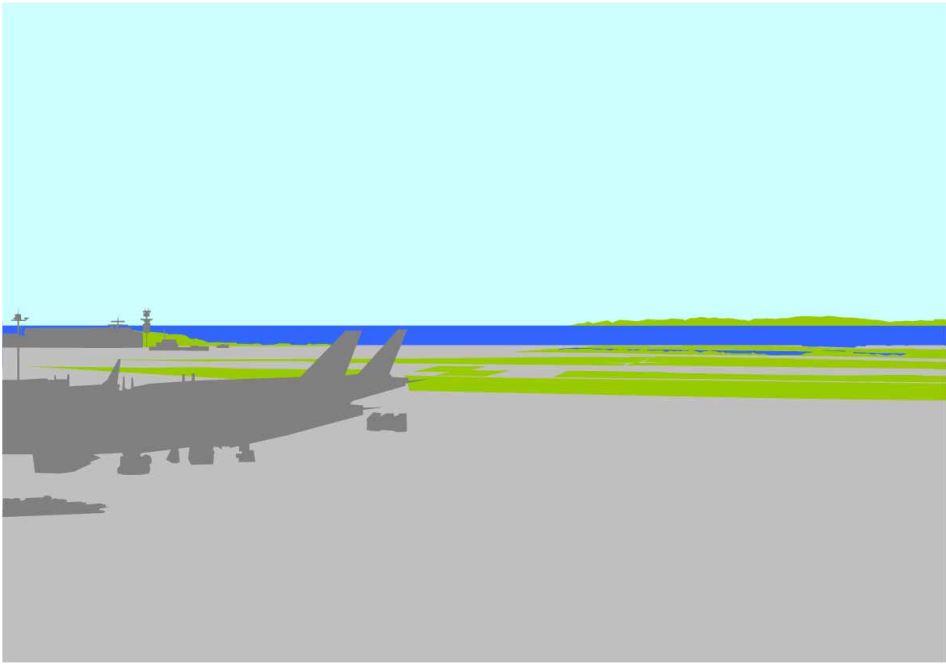
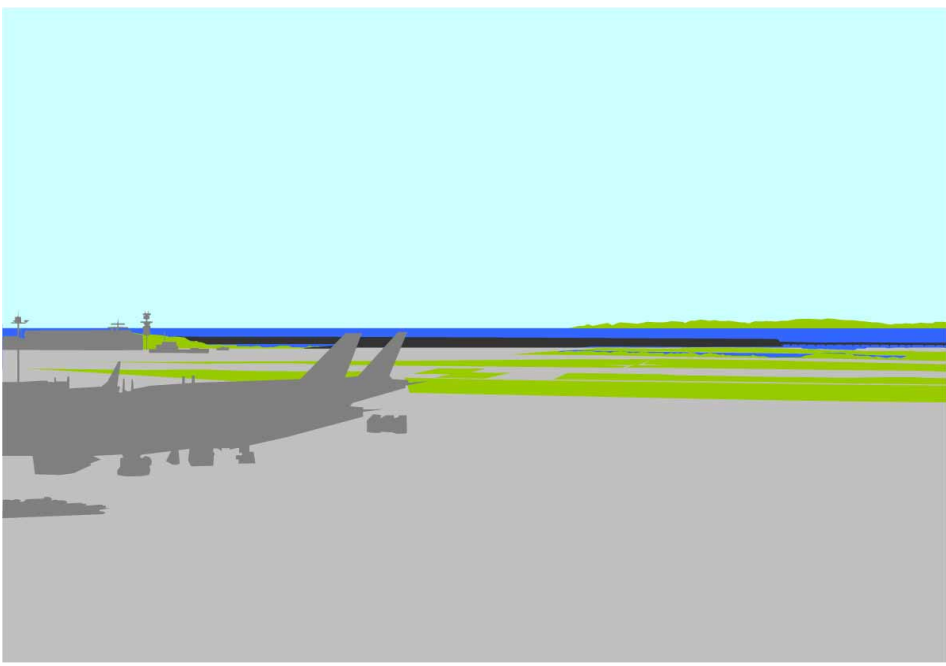
a) 景観構成要素の変化

現況と埋立地及び飛行場施設の存在時における主要な眺望景観の変化について、フォトモンタージュにより景観構成要素の改変の影響を予測した結果は、表－ 6.16.2.9 及び表－ 6.16.2.10 に示すとおりである。

表－ 6.16.2.9 (1) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (那覇空港ターミナル)

現況	 A wide-angle photograph of an airport tarmac under a clear blue sky. In the foreground, the tail section of a white aircraft with a prominent red tail fin is visible. The tarmac is marked with white and orange lines. In the background, other aircraft and airport infrastructure are visible against a clear horizon.
存在時	 A wide-angle photograph of the same airport tarmac as above, but with a different aircraft. This aircraft has a white body and a brown tail fin. The rest of the scene, including the tarmac markings and background, is identical to the 'Current' (現況) image.

表－ 6.16.2.10 (1) 景観構成要素の変化（那覇空港ターミナル）


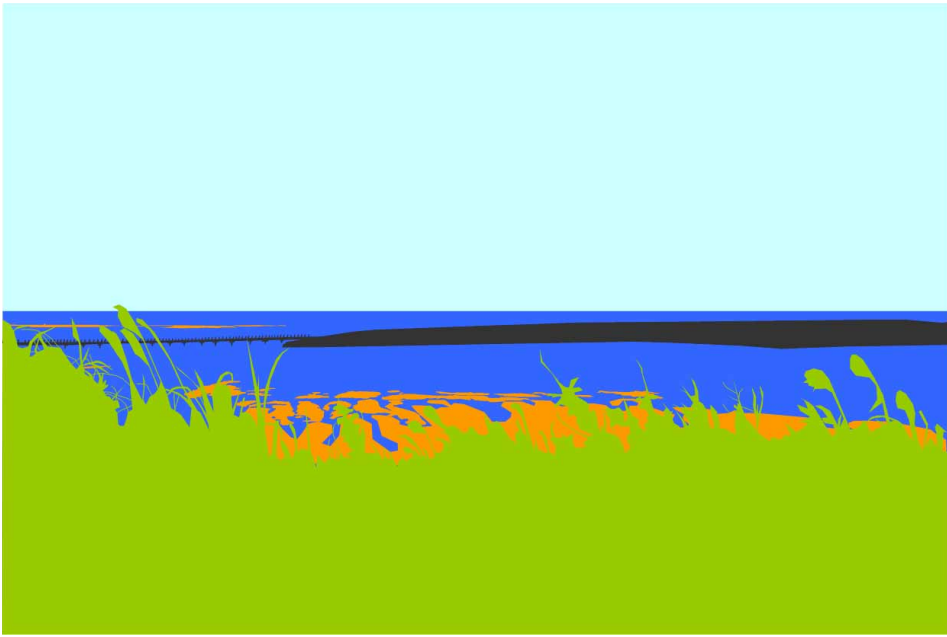
<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="440 1653 906 1960"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>5.45</td> <td>6.58</td> <td>0.89</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>39.59</td> <td>39.39</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>49.02</td> <td>49.02</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>3.57</td> <td>3.57</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>2.37</td> <td>1.44</td> <td>-0.89</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="440 1962 906 1989">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1653 1390 1995"> <p><凡例></p> <table border="1"> <tr> <td>新人工物</td> <td>緑地</td> </tr> <tr> <td>既存人工物</td> <td>岩場</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>砂浜</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	5.45	6.58	0.89	道路	39.59	39.39	0.00	空	49.02	49.02	0.00	緑地	3.57	3.57	0.00	岩場	-	-	-	砂浜	-	-	-	海	2.37	1.44	-0.89	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	5.45	6.58	0.89																																										
道路	39.59	39.39	0.00																																										
空	49.02	49.02	0.00																																										
緑地	3.57	3.57	0.00																																										
岩場	-	-	-																																										
砂浜	-	-	-																																										
海	2.37	1.44	-0.89																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：新人工物とは、増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔を指す。

表一 6.16.2.9 (2) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (瀬長島(山腹-西向き))



現況	
存在時	

表一 6.16.2.10 (2) 景観構成要素の変化 (瀬長島(山腹-西向き))

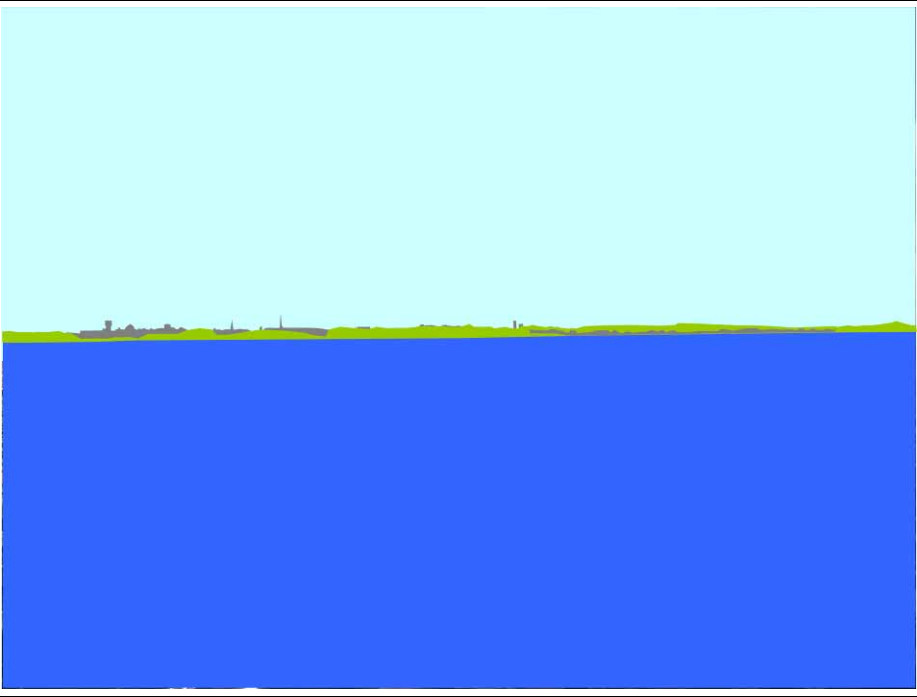

<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="424 1585 914 1890"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>0.00</td> <td>2.39</td> <td>2.39</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>49.49</td> <td>49.49</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>35.24</td> <td>35.24</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>2.28</td> <td>2.24</td> <td>-0.04</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>13.00</td> <td>10.64</td> <td>-2.35</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="424 1890 895 1919">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1585 1385 1919"> <p><凡例></p> <table border="1"> <tr> <td>新人工物</td> <td>緑地</td> </tr> <tr> <td>既存人工物</td> <td>岩場</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>砂浜</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	0.00	2.39	2.39	道路	-	-	-	空	49.49	49.49	0.00	緑地	35.24	35.24	0.00	岩場	2.28	2.24	-0.04	砂浜	-	-	-	海	13.00	10.64	-2.35	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	0.00	2.39	2.39																																										
道路	-	-	-																																										
空	49.49	49.49	0.00																																										
緑地	35.24	35.24	0.00																																										
岩場	2.28	2.24	-0.04																																										
砂浜	-	-	-																																										
海	13.00	10.64	-2.35																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：新人工物とは、増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔を指す。

表－ 6.16.2.9 (3) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (海上)

現況	 A wide-angle photograph of a vast blue sea under a bright blue sky filled with large, fluffy white clouds. The water's surface is covered in small, shimmering ripples that catch the light. In the far distance, a thin line of land with some buildings and structures is visible on the horizon.
存在時	 A wide-angle photograph of a seascape, similar to the one above, but with a white lighthouse visible on the horizon line. The sky is blue with white clouds, and the water is dark blue with shimmering ripples. The lighthouse is a simple, cylindrical structure with a lantern room on top.

表一 6.16.2.10 (3) 景観構成要素の変化 (海上)

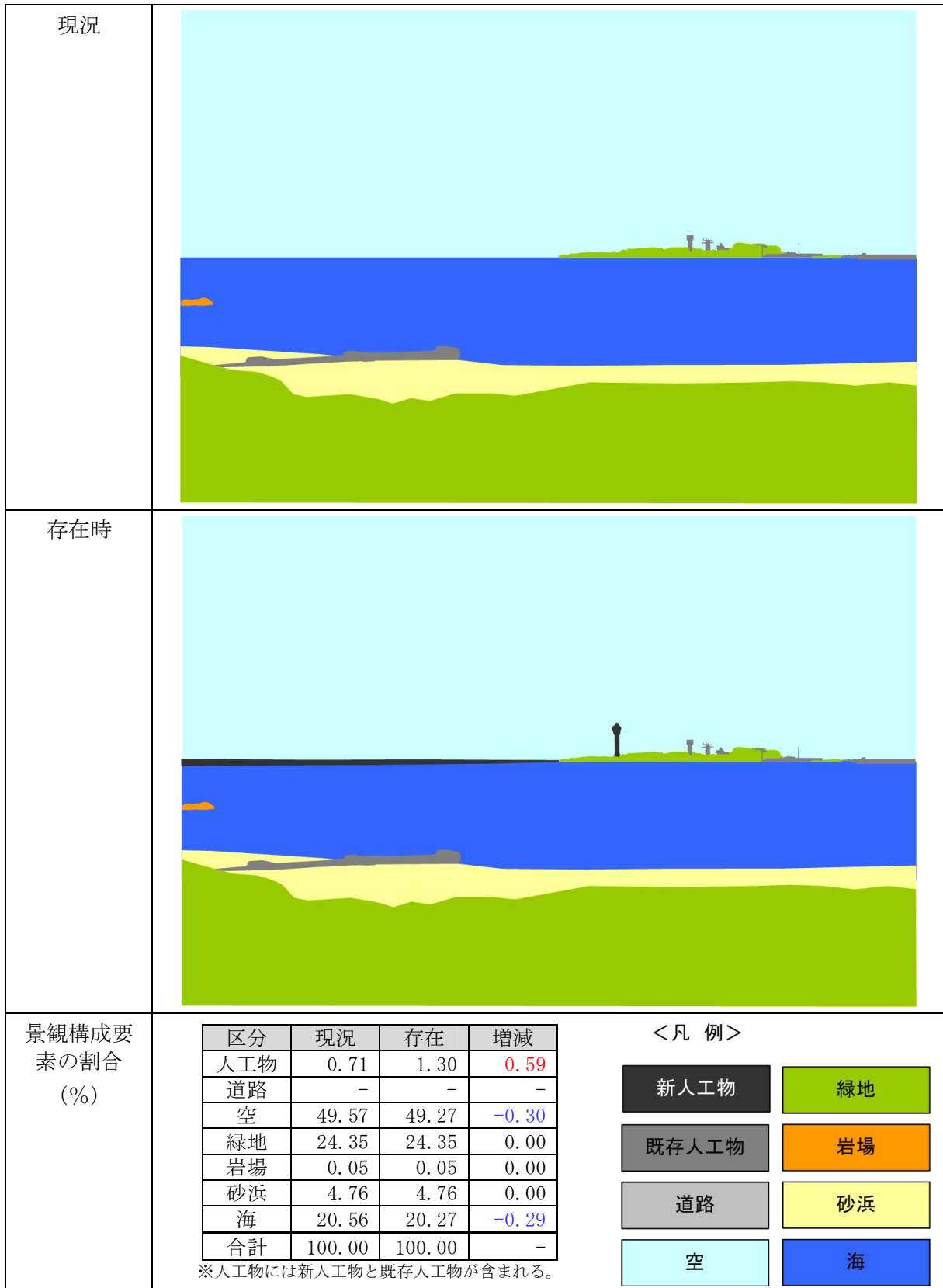
<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="432 1668 917 1975"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>0.33</td> <td>2.46</td> <td>2.13</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>47.09</td> <td>47.03</td> <td>-0.06</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>0.99</td> <td>0.94</td> <td>-0.05</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>51.59</td> <td>49.57</td> <td>-2.03</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="432 1975 917 2007">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1668 1388 2007"> <p><凡例></p> <table border="1"> <tr> <td>新人工物</td> <td>緑地</td> </tr> <tr> <td>既存人工物</td> <td>岩場</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>砂浜</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	0.33	2.46	2.13	道路	-	-	-	空	47.09	47.03	-0.06	緑地	0.99	0.94	-0.05	岩場	-	-	-	砂浜	-	-	-	海	51.59	49.57	-2.03	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	0.33	2.46	2.13																																										
道路	-	-	-																																										
空	47.09	47.03	-0.06																																										
緑地	0.99	0.94	-0.05																																										
岩場	-	-	-																																										
砂浜	-	-	-																																										
海	51.59	49.57	-2.03																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：新人工物とは、増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔を指す。

表ー 6.16.2.9 (4) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (瀬長島サンセットパーク)

現況	
存在時	

表－ 6.16.2.10 (4) 景観構成要素の変化 (瀬長島サンセットパーク)

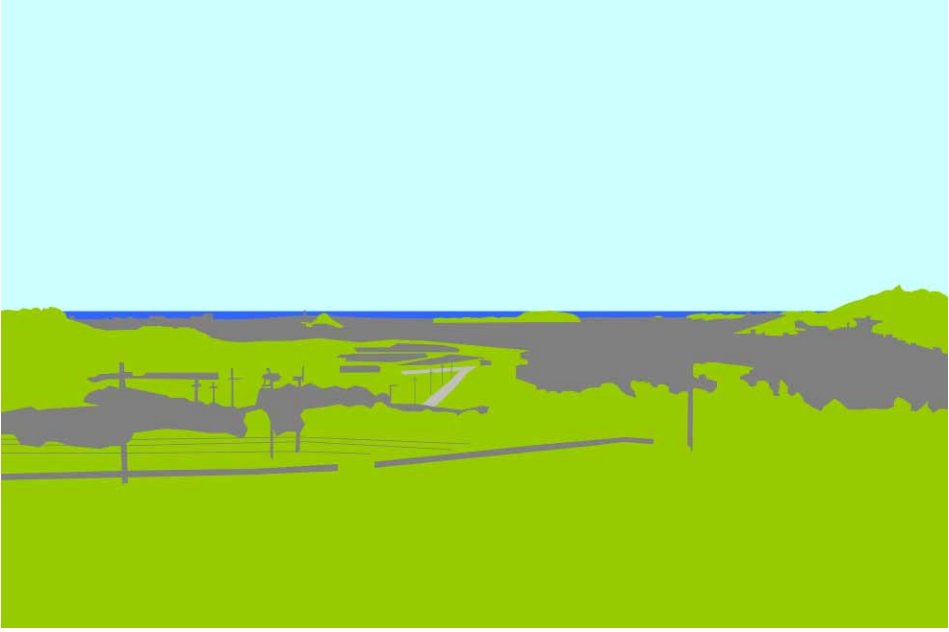



注：新人工物とは、増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔を指す。

表ー 6.16.2.9 (5) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (保栄茂)


現況	
存在時	

表－ 6.16.2.10 (5) 景観構成要素の変化 (保栄茂)

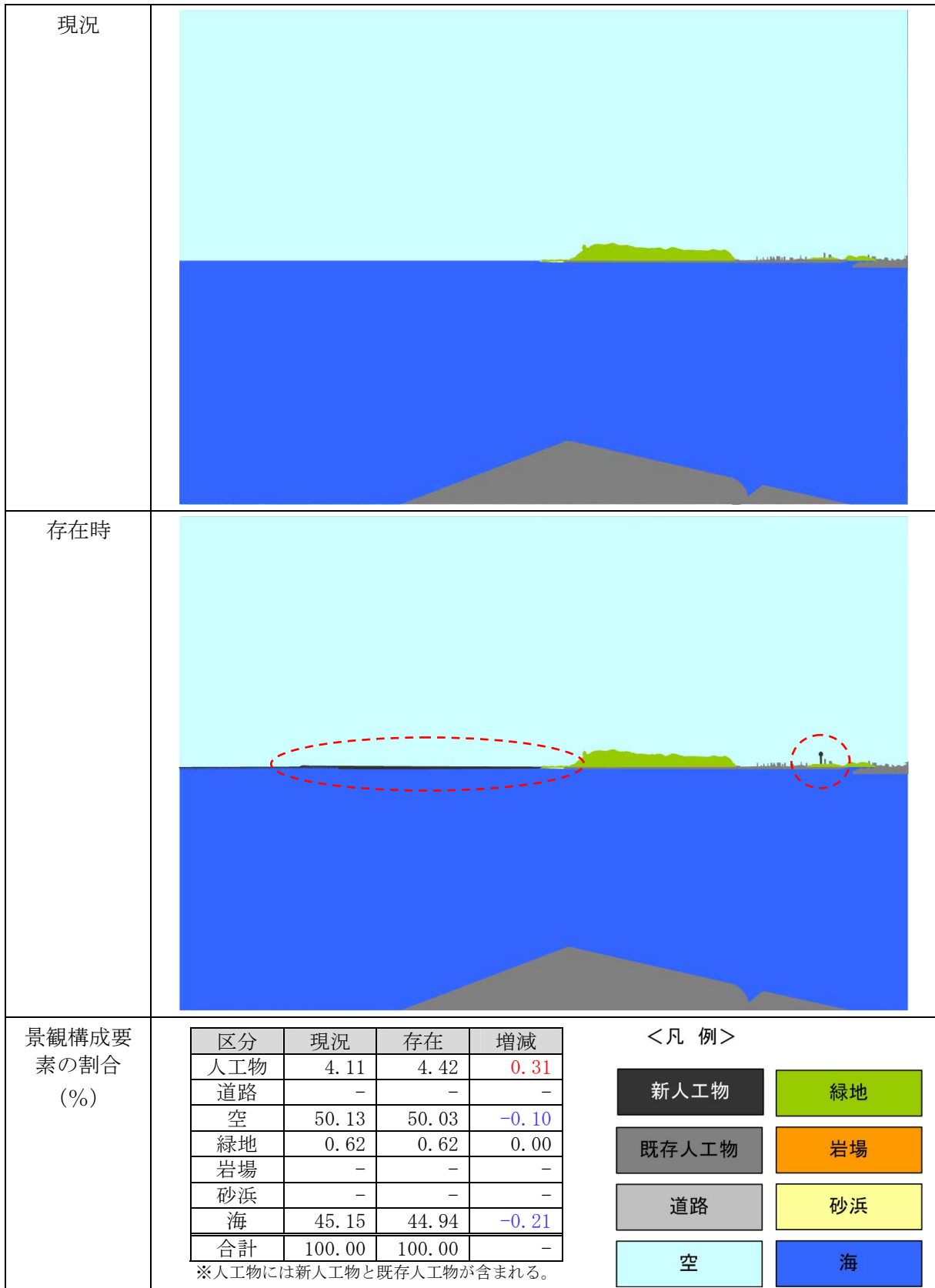
<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="422 1585 925 1915"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>9.54</td> <td>9.58</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>0.10</td> <td>0.10</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>49.77</td> <td>49.77</td> <td>-0.00</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>40.05</td> <td>40.05</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>0.54</td> <td>0.50</td> <td>-0.04</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="434 1915 901 1942">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1594 1388 1937" style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <p data-bbox="1024 1594 1145 1624"><凡 例></p> <table border="1" data-bbox="986 1653 1388 1937" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #333; color: white; padding: 5px;">新人工物</td> <td style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">緑地</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #808080; padding: 5px;">既存人工物</td> <td style="background-color: #FF8C00; padding: 5px;">岩場</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #A9A9A9; padding: 5px;">道路</td> <td style="background-color: #FFFF00; padding: 5px;">砂浜</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">空</td> <td style="background-color: #0000FF; padding: 5px;">海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	9.54	9.58	0.04	道路	0.10	0.10	0.00	空	49.77	49.77	-0.00	緑地	40.05	40.05	0.00	岩場	-	-	-	砂浜	-	-	-	海	0.54	0.50	-0.04	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	9.54	9.58	0.04																																										
道路	0.10	0.10	0.00																																										
空	49.77	49.77	-0.00																																										
緑地	40.05	40.05	0.00																																										
岩場	-	-	-																																										
砂浜	-	-	-																																										
海	0.54	0.50	-0.04																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：() は、新人工物（増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔）がある個所を示す。

表ー 6.16.2.9 (6) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (与根漁港)

現況	 A wide-angle photograph showing a clear, bright blue sky above a vast expanse of turquoise water. In the distance, a small, green island is visible on the horizon. The foreground shows the corner of a concrete pier or breakwater.
存在時	 A wide-angle photograph showing a clear, bright blue sky above a vast expanse of turquoise water. In the distance, a small, green island is visible on the horizon. The foreground shows the corner of a concrete pier or breakwater. This image is a photomontage of the current view, with the island appearing more prominent and the water color slightly more saturated.

表－ 6.16.2.10 (6) 景観構成要素の変化（与根漁港）

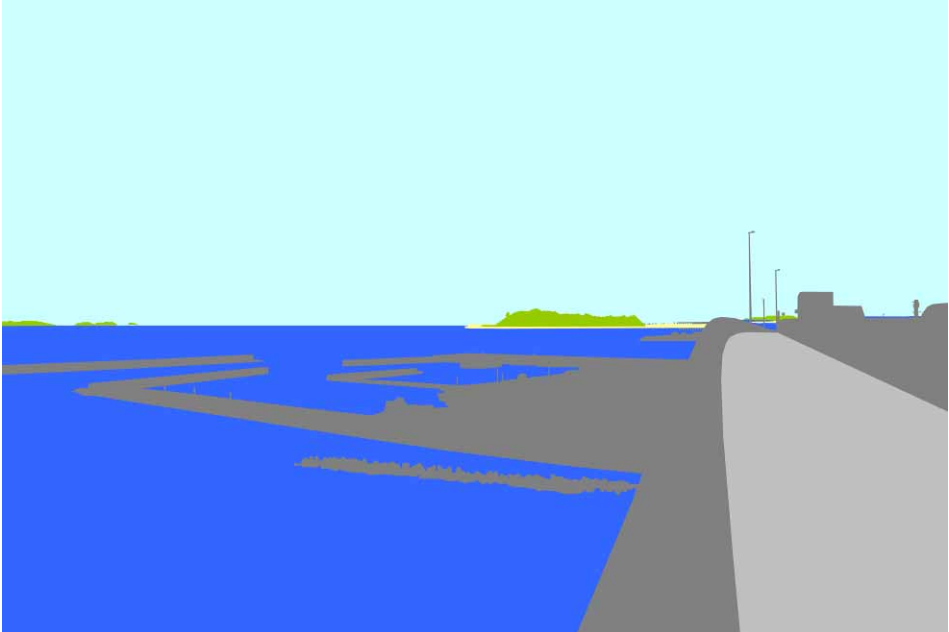
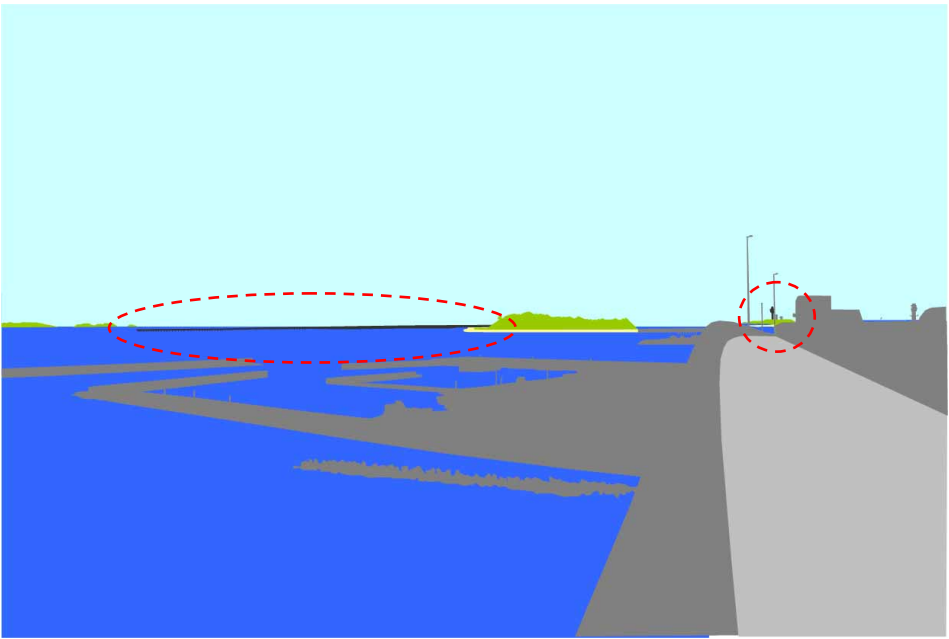


注：() は、新人工物（増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔）がある個所を示す。

表－ 6.16.2.9 (7) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (国道 331 号豊見城道路)

現況	 A wide-angle photograph taken from the side of a highway, looking out over a coastal area. The sky is a clear, bright blue with a few wispy clouds. The water is a vibrant turquoise color. In the middle ground, there is a large, rectangular concrete structure, possibly a breakwater or a pier, with several smaller structures and buildings inside. A small island is visible in the distance. The highway's concrete barrier and yellow road markings are visible in the foreground.
存在時	 This image is a photomontage of the same scene as the one above, but with the large concrete structure in the middle ground appearing to be a different, more integrated part of the landscape. The overall scene is identical, showing the highway, the turquoise water, and the clear blue sky, but the structure's presence is highlighted as a key feature of the landscape.

表一 6.16.2.10 (7) 景観構成要素の変化 (国道 331 号豊見城道路)

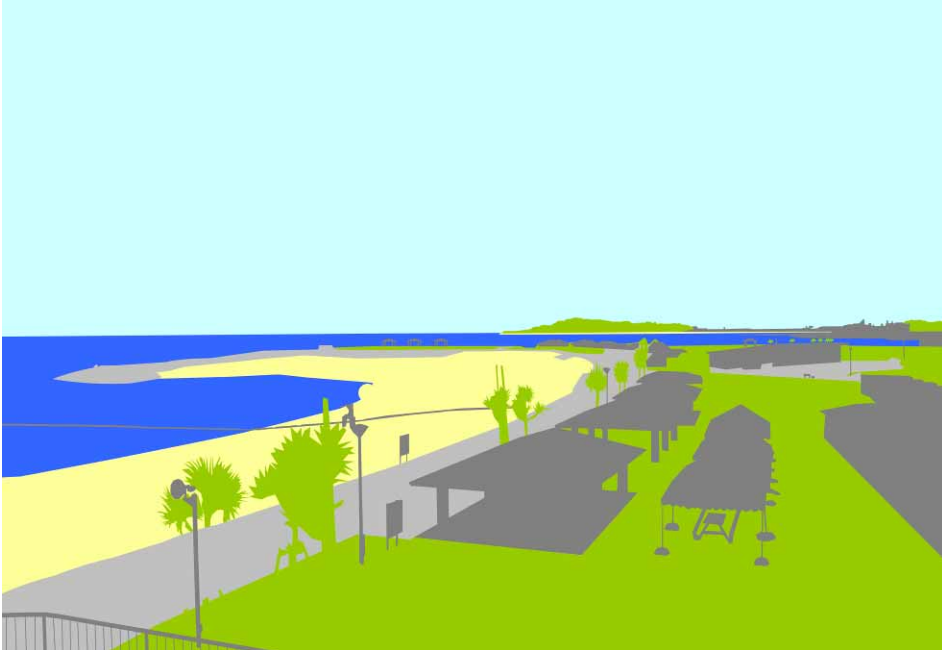
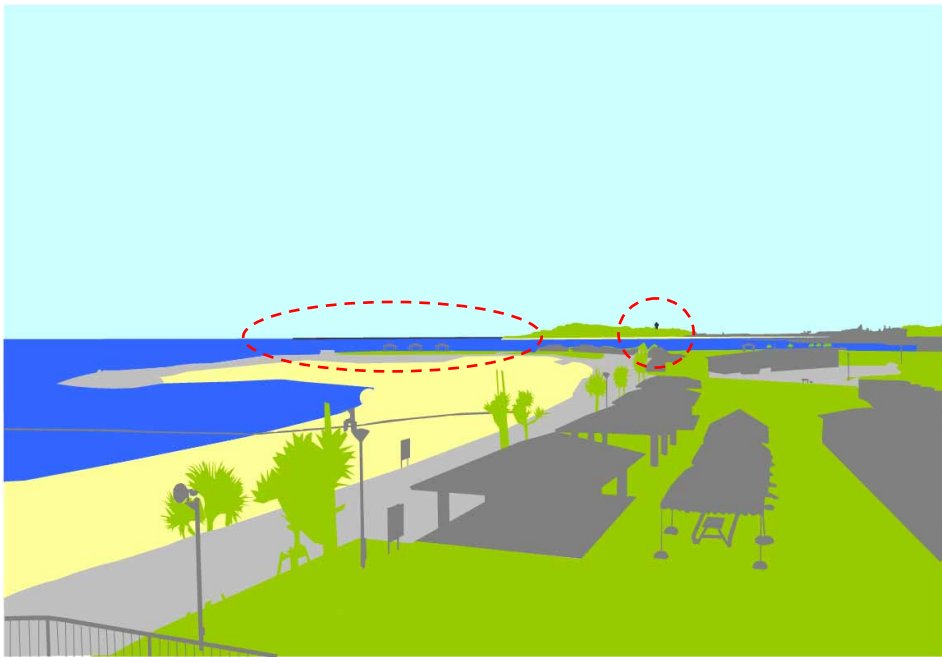
<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="416 1592 933 1921"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>14.53</td> <td>14.72</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>8.38</td> <td>8.38</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>50.48</td> <td>50.44</td> <td>-0.04</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>0.36</td> <td>0.36</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>0.08</td> <td>0.08</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>26.17</td> <td>26.02</td> <td>-0.15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="435 1921 898 1948">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1601 1388 1944"> <p><凡例></p> <table border="1"> <tr> <td>新人工物</td> <td>緑地</td> </tr> <tr> <td>既存人工物</td> <td>岩場</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>砂浜</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	14.53	14.72	0.19	道路	8.38	8.38	0.00	空	50.48	50.44	-0.04	緑地	0.36	0.36	0.00	岩場	-	-	-	砂浜	0.08	0.08	0.00	海	26.17	26.02	-0.15	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	14.53	14.72	0.19																																										
道路	8.38	8.38	0.00																																										
空	50.48	50.44	-0.04																																										
緑地	0.36	0.36	0.00																																										
岩場	-	-	-																																										
砂浜	0.08	0.08	0.00																																										
海	26.17	26.02	-0.15																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：() は、新人工物（増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔）がある個所を示す。

表ー 6.16.2.9 (8) 眺望景観のフォトモンタージュ結果 (美らサンビーチ)

現況	
存在時	

表－ 6.16.2.10 (8) 景観構成要素の変化 (美らサンビーチ)

<p>現況</p>																																													
<p>存在時</p>																																													
<p>景観構成要素の割合 (%)</p>	<table border="1" data-bbox="427 1630 916 1957"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現況</th> <th>存在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工物</td> <td>9.39</td> <td>9.47</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>5.97</td> <td>5.97</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>空</td> <td>51.52</td> <td>51.48</td> <td>-0.04</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>20.16</td> <td>20.16</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>岩場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>砂浜</td> <td>6.91</td> <td>6.91</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>海</td> <td>6.05</td> <td>6.01</td> <td>-0.04</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.00</td> <td>100.00</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="432 1957 906 1984">※人工物には新人工物と既存人工物が含まれる。</p> <div data-bbox="986 1637 1385 1980" style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <p data-bbox="1023 1637 1142 1671"><凡 例></p> <table border="1" data-bbox="986 1693 1385 1980" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #333; color: white; padding: 5px;">新人工物</td> <td style="background-color: #90EE90; padding: 5px;">緑地</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #808080; padding: 5px;">既存人工物</td> <td style="background-color: #FF8C00; padding: 5px;">岩場</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #A9A9A9; padding: 5px;">道路</td> <td style="background-color: #FFFF00; padding: 5px;">砂浜</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">空</td> <td style="background-color: #0000FF; padding: 5px;">海</td> </tr> </table> </div>	区分	現況	存在	増減	人工物	9.39	9.47	0.08	道路	5.97	5.97	0.00	空	51.52	51.48	-0.04	緑地	20.16	20.16	0.00	岩場	-	-	-	砂浜	6.91	6.91	0.00	海	6.05	6.01	-0.04	合計	100.00	100.00	-	新人工物	緑地	既存人工物	岩場	道路	砂浜	空	海
区分	現況	存在	増減																																										
人工物	9.39	9.47	0.08																																										
道路	5.97	5.97	0.00																																										
空	51.52	51.48	-0.04																																										
緑地	20.16	20.16	0.00																																										
岩場	-	-	-																																										
砂浜	6.91	6.91	0.00																																										
海	6.05	6.01	-0.04																																										
合計	100.00	100.00	-																																										
新人工物	緑地																																												
既存人工物	岩場																																												
道路	砂浜																																												
空	海																																												

注：() は、新人工物（増設滑走路を含む埋立地、進入灯、新設管制塔）がある個所を示す。

b) 海岸線の変化

「6.11 地形」において、海岸線の予測に際し、埋立地及び飛行場の存在による波浪の変化が漂砂・海岸線に及ぼす影響について予測を行った。その結果、埋立地及び飛行場の背後に位置する海浜部については、到達波浪が大きく減衰し漂砂はほとんどなくなると考えられるため、海岸線は安定すると整理された。

よって、埋立地及び飛行場の存在に伴う海岸線の変化が眺望景観の変化に及ぼす影響は極めて小さいと考えられた。

イ) 眺望景観の価値の変化

前項の主要な眺望景観の変化の予測結果を踏まえ、眺望景観の価値の変化の予測を行った結果については、表－ 6.16.2.11 に示すとおりである。

視点場への影響については、航空機騒音の影響が考えられたものの、主要な眺望景観における視点場への影響が大きいと考えられるケース 3（ピーク時間帯以外は現滑走路で運用する方式）において、航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回る結果となったことから、視点場の環境の変化は極めて小さいと考えられる。

眺望景観の変化については、埋立地及び飛行場の存在時においては、全ての地点で、人工物が景観構成要素に占める割合が増加したが、増加の割合は数%程度にとどまっている。増加する割合が最も大きい地点は瀬長島（山腹－西向き）で 2.4%、次いで海上で 2.1%、那覇空港ターミナル 1.1%であり、その他の地点においては 1%未満の増加であった。人工物の増加で、その他の景観構成要素の割合が減少したが、主要な景観資源（表－ 6.16.1.14）の減少はなく、景観構成要素に係る変化は極めて小さいと考えられる。また、供用時においては、地形の予測において、海岸線は安定すると予測されたため、景観構成要素における砂浜の変化は極めて小さいと考えられる。

表－ 6.16.2.11 (1) 眺望景観の価値の変化

眺望景観地点	価値軸	認識項目	変化の内容	
			存在時 (埋立地及び飛行場の存在)	供用時 (航空機の運航)
那覇空港 ターミナル	普遍 価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加するが、増加の割合は0.9%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	利用性に変化はない。
	固有 価値	固有性	景観構成要素のうち、眺望対象となっていた海域が、埋立地及び飛行場の存在に伴いが減少するが、減少の割合は0.9%にとどまる。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。
瀬長島 (山腹-西向き)	普遍 価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加するが、増加の割合は2.4%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	現在は、瀬長島の開発工事のため利用性は低いですが、工事終了後はホテルが建設される予定である。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有 価値	固有性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、景観構成要素の岩盤及び海面の一部が消失する。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。
海上	普遍 価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加し、新設される管制塔が、空間的に突出するが、増加の割合は2.1%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有 価値	固有性	新設護岸により、大嶺崎周辺の自然海岸を含む既設護岸が視界から遮られる。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。

注：存在時における変化は、現況から存在時にかけての変化とし、供用時の変化は、存在時から供用時にかけての変化とする。

表－ 6.16.2.11 (2) 眺望景観の価値の変化

眺望景観地点	価値軸	認識項目	変化の内容	
			存在時 (埋立地及び飛行場の存在)	供用時 (航空機の運航)
瀬長島サンセットパーク	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加し、新設される管制塔が、空間的に突出するが、増加の割合は0.6%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有価値	固有性	景観を構成する要素の種類は変わらないものの、埋立地及び飛行場の存在に伴い、水平線が遮られるものの、人工物の増加の割合は0.6%にとどまる。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。
保栄茂	普遍価値	自然性	現在の地形により埋立地及び飛行場の存在に伴う新設人工物は、そのほとんどが遮られるため、埋立地及び飛行場の存在に伴い増加する人工物の景観構成要素の割合は0.04%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有価値	固有性	現況と同様に、大嶺崎、瀬長島、数珠森などの景観資源を一望でき、固有性に変化はない。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	地元のシンボルである瀬長島及び数珠森が現況と変わらず眺望できるため、親近性に変化はない。	親近性に変化はない。
与根漁港	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加するが、増加の割合は0.3%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有価値	固有性	現況と同様に、瀬長島と及び与根干潟を一望できる。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。

注：存在時における変化は、現況から存在時にかけての変化とし、供用時の変化は、存在時から供用時にかけての変化とする。

表－ 6.16.2.11 (3) 眺望景観の価値の変化

眺望景観地点	価値軸	認識項目	変化の内容	
			存在時 (埋立地及び飛行場の存在)	供用時 (航空機の運航)
国道 331 号豊見城道路	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加するが、増加の割合は 0.2%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有価値	固有性	現況と同様に、高い視点場を維持している。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。
美らサンビーチ	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在に伴い、人工物が景観構成要素に占める割合が増加するが、増加の割合は 0.1%にとどまる。また、眺望を遮る建物はなく、広い視野の確保は維持される。	新たな景観構成要素の変化はなく、自然性に変化はない。
		利用性	利用性に変化はない。	航空機騒音は、概ね現況程度の騒音レベルか下回るため、利用性の変化は極めて小さい。
	固有価値	固有性	現況と同様に、瀬長島と及び与根干潟を一望できる。	新たな景観構成要素の変化はなく、固有性に変化はない。
		親近性	親近性に変化はない。	親近性に変化はない。

注：存在時における変化は、現況から存在時にかけての変化とし、供用時の変化は、存在時から供用時にかけての変化とする。

(イ) 围绕景观の状況

ア) 場の改変の程度

围绕景观を構成する基盤環境の改変の状況は、表－ 6.16.2.12 に示すとおりである。

表－ 6.16.2.12 基盤環境の改変の状況

NO.	基盤環境	改変区域内	改変区域外	合計
1	砂	0.0 ha (0%)	11.0 ha (100%)	11.0 ha
2	砂礫	55.2 ha (18%)	255.6 ha (82%)	310.8 ha
3	転石	0.0 ha (0%)	2.8 ha (100%)	2.8 ha
4	岩盤	17.7 ha (29%)	42.4 ha (71%)	60.1 ha
5	泥岩	0.0 ha (0%)	5.0 ha (100%)	5.0 ha
6	泥	0.4 ha (1%)	32.1 ha (99%)	32.5 ha
7	砂泥	14.5 ha (19%)	60.7 ha (81%)	75.2 ha
8	藻場 10%未満	13.4 ha (35%)	24.7 ha (65%)	38.1 ha
9	藻場 10～20%未満	3.7 ha (30%)	8.7 ha (70%)	12.4 ha
10	藻場 20～30%未満	3.3 ha (52%)	3.0 ha (48%)	6.3 ha
11	サンゴ 10%未満	80.5 ha (13%)	527.6 ha (87%)	605.8 ha
12	サンゴ 10～30%未満	1.7 ha (7%)	22.8 ha (93%)	24.5 ha
13	砂浜	0.0 ha (0%)	2.2 ha (100%)	2.2 ha
14	草地	8.1 ha (57%)	6.1 ha (43%)	14.2 ha
15	砂浜-海浜植生	0.4 ha (8%)	4.9 ha (92%)	5.3 ha
16	岩場-海浜植生			
17	ギンネム	4.9 ha (37%)	8.1 ha (63%)	13.0 ha

イ) 圍繞景観の価値の変化

圍繞景観の価値の変化については、表－ 6.16.2.13 に示すとおりである。

埋立地及び飛行場の存在により、利用性の変化はなく、親近性の変化は極めて小さいと考えられるものの、事業実施区域周辺においては基盤環境の一部が消失し、人工物による圧迫感等が生じると考えられることから、自然性及び固有性の変化が考えられる。

表－ 6.16.2.13 圍繞景観の価値の変化

区分	価値軸	認識項目	価値の変化
海域	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在により基盤環境のうち、砂礫が約 18%、砂泥が約 19%、岩盤が約 29%、藻場が約 36%、サンゴ類が約 13%消失し、事業実施区域周辺においては、人工物の圧迫感を感じると考えられる。
		利用性	埋立地及び飛行場の存在により、冠水域においては、一部が消失することにより利用範囲が狭まるが、残存域においてはこれまでと同様の利用が可能であると考えられる。
	固有価値	固有性	埋立地及び飛行場の存在により基盤環境が消失することにより、当該海域の固有性（多様な基盤環境、藻場やサンゴ類の分布域）が変化すると考えられる。
		親近性	現在では頻繁に利用がみられていないことから、親近性の変化は極めて小さいと考えられる。
陸域	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在により基盤環境のうち、砂浜・岩礁、海浜植生が消失し、大嶺崎や瀬長島の海浜部においては、人工物の圧迫感を感じると考えられる。
		利用性	事業による埋立て及び改変により消失する場所は、現在、一般の利用者は立ち入ることができない場所であることから、利用性に変化はないと考えられる。
	固有価値	固有性	埋立地及び飛行場の存在により大嶺崎周辺の自然海岸が消失することにより、当該海域の固有性が変化すると考えられる。
		親近性	埋立地及び飛行場の存在により大嶺崎周辺の陸域が一部改変されるものの、当該地域は利用が制限されていることから郷土性は低い。また、郷土性の高い瀬長島では事業による改変はないことから、郷土性に変化はないものと考えられる。
海中景観	普遍価値	自然性	埋立地及び飛行場の存在によりサンゴ類の生息域が約 13%消失し、護岸による圧迫感や人工護岸（消波ブロック等）による眺めの状況が阻害されることが考えられる。
		利用性	現在の利用性は低く、埋立地及び飛行場の存在による影響は極めて小さいと考えられる。
	固有価値	固有性	埋立地及び飛行場の存在により基盤環境が消失することにより、当該海域の固有性（サンゴ類の分布域）が変化すると考えられる。
		親近性	現在では頻繁に利用がみられていないことから、親近性の変化は極めて小さいと考えられる。

6.16.3 評価

増設滑走路配置の検討にあたっては、平成15年度より検討を実施しており、パブリック・インボルブメント（PI）の手法を取り入れ、県民等に情報提供を行い、広く意見を聞きながら実施した。その際、サンゴ、藻場、干潟及び生態系の消失への影響について十分考慮するとともに、規模の小さい砂質干潟への影響については、最大限、直接的影響を回避するように努めた。その結果、大嶺崎周辺の海岸線について、大部分を残存させることが可能となった。

(1) 工事の実施

1) 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 環境保全措置の検討

景観について、工事の実施に伴う影響を低減するため、以下に示す環境保全措置を講じることとした。

- ・ 建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を導入する。
- ・ 地域住民の生活環境に配慮して、早朝や夜間、土曜、日曜及び祝日の工事は極力控える工程とする。
- ・ 海中への石材投入や浚渫による水の濁りの影響を低減させるため、施工区域周辺海域での汚濁防止膜や施工箇所を取り囲むような汚濁防止柵を適切に設置・使用する。
- ・ 沈砂池の濁水は護岸で囲まれた状態の第5工区に排水する。また、沈砂池の貯水容量を上回るような降雨の際にも、同様に第5工区に排水する。

上記の環境保全措置を予測の前提として検討した結果、工事の実施に伴う影響を、以下に示すとおり予測した。

<眺望景観>

- ・ 護岸及び埋立の工事に伴い、資機材等の存在により予測地点の景観構成要素が変化すると考えられる。

<困繞景観>

- ・ 工事の実施時には、工事区域への立ち入りが制限されることから、利用性は変化すると考えられる。
- ・ 濁りの発生により、景観を構成しているサンゴ類が限られた分布域で影響を受けるため、当該海域の固有性が変化すると考えられる。

前記の予測結果を踏まえ、工事の実施に伴う影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ 資機材は、工事終了後に速やかに撤去する。
- ・ 水の濁りの影響を低減するための環境保全措置を講じる（「6.9 土砂による水の濁り」を参照）。
- ・ 海域生物（サンゴ類）の影響を低減するための環境保全措置を講じる（「6.13 海域生物」を参照）。

(イ) 環境影響の回避又は低減の検討

調査及び予測の結果、並びに前項に示す環境保全措置の検討結果を踏まえると、工事の実施に伴う主要な眺望景観の変化及び圍繞景観における場の改変の程度は、上記の環境保全措置を講じることにより、回避又は低減が期待できるものと考えられる。

以上のことから、工事の実施による景観への影響は、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られているものと評価した。

2) 国又は地方公共団体による環境の保全に係る基準又は目標との整合性に係る評価

(ア) 環境の保全に係る基準又は目標

「沖縄県環境基本計画」（平成 15 年 4 月、沖縄県）によると、「主体別配慮指針」として「事業者」は、「埋立や護岸の設置など海浜の地形変更を伴う事業においては、地域の生態系・景観への影響について十分に検討した上で事業を実施する」と示されている。

よって、これを環境の保全に係る目標とした。

(イ) 環境の保全に係る基準又は目標との整合性

調査及び予測の結果、並びに前項に示す環境保全措置の検討結果を踏まえると、工事の実施に伴う主要な眺望景観の変化及び圍繞景観における場の改変の程度を回避又は低減することにより、景観への影響をとどめるよう十分配慮されているものと考えられる。

以上のことから、環境の保全に係る基準又は目標の整合性が図られているものと評価した。

(2) 土地又は工作物の存在及び供用

1) 環境影響の回避又は低減に係る評価

(ア) 環境保全措置の検討

景観について、土地又は工作物の存在及び供用に伴う影響を低減するため、以下に示す環境保全措置を講じることとした。

- ・ 周辺地域の修景に努めるため、護岸の一部に自然石を用いる。

上記の環境保全措置を予測の前提として検討した結果、土地又は工作物の存在及び供用に伴う影響を以下に示すとおり予測した。

<眺望景観>

- ・ 埋立地及び飛行場の存在に伴う景観構成要素に係る変化は極めて小さく、航空機の運航に伴う航空機騒音の影響も極めて小さいことから、普遍価値及び固有価値の変化は極めて小さいと予測した。

<困繞景観>

- ・ 埋立地及び飛行場の存在により、各区分の基盤環境の消失及び人工物による圧迫感等が考えられるため、自然性及び固有性が変化すると予測した。

上記の予測結果を踏まえ、土地又は工作物の存在及び供用に伴う影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ 海域生物に対する環境保全措置を講じる（「6.13 海域生物」を参照）。

(イ) 環境影響の回避又は低減の検討

調査及び予測の結果、並びに前項に示す環境保全措置の検討結果を踏まえると、土地又は工作物の存在及び供用に伴う主要な眺望景観の変化及び困繞景観における場の改変の程度や、眺望景観及び困繞景観の価値の変化については、上記の環境保全措置を講じることにより、回避又は低減が期待できるものと考えられる。

以上のことから、土地又は工作物の存在及び供用による景観への影響については、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られているものと評価した。

2) 国又は地方公共団体による環境の保全に係る基準又は目標との整合性に係る評価

(ア) 環境の保全に係る基準又は目標

「沖縄県環境基本計画」（平成 15 年 4 月、沖縄県）によると、「埋立及び干拓の事業」における「事業別環境配慮指針」として、「護岸については、周辺景観との調和に配慮するとともに、自然性、親水性の高い水辺の形成に努める」と示されており、「飛行場の設置又は変更の事業」においては「優れた景勝地等の貴重な自然や文化財等に影響を及ぼす立地は避けるよう努める。」と示されている。

また、「那覇市景観計画」（平成 23 年 5 月、那覇市）によると、「巨大施設等は、周辺の景観と調和し圧迫感を与えないよう位置や形態を配慮」することと示されており、「豊見城市都市計画マスタープラン」（平成 21 年 3 月、那覇市）によると、「瀬長島においては、緑地や海浜など自然環境の保全及び景観形成などに配慮」することと示されている。

よって、これらを環境の保全に係る基準又は目標とした。

(イ) 環境の保全に係る基準又は目標との整合性

調査及び予測の結果、並びに前項に示す環境保全措置の検討結果を踏まえると、環境保全措置として周辺地域の修景に努めるため、護岸の一部に自然石を用いることにより、眺望景観及び困繞景観への影響を最小限にとどめるよう十分配慮されているものと考えられる。

以上のことから、環境の保全に係る基準又は目標との整合性が図られているものと評価した。